

1. 運動・スポーツ実施状況

1-1 実施頻度

図1-1-1は、芦屋市民全体および性別の運動・スポーツ実施状況を示している。週1回以上の「定期実施者」は全体で64.3%（男性67.4%、女性62.2%）であり、前回調査（H24）の62.0%、前々回（H19）の52.3%より増加している。H28の全国平均（42.5%）と比較すると、20ポイント以上高いことがわかる。「週4日以上」運動・スポーツを行っている人は全体の15.2%、男性16.9%、女性14.2%である。「週3日程度」と「週4日以上」を合わせた「週3日以上」は全体で31.7%（男性33.1%、女性30.7%）であり、前回調査（H24）の29.0%、前々回（H19）の21.6%より増加している。これは、第2期スポーツ基本計画（スポーツ庁、2017）が目指す30%程度の数字を達成できている。「未実施者」（年間ゼロ）は全体で8.2%（男性6.2%、女性9.6%）であり、前回調査（H24）の7.3%より微増している。また、年齢層が高いほど運動・スポーツを「週3日以上」行っている人が多く、性別では男女ともに週3日以上・週1日以上ともに微増している。

年齢層別にみると（図1-1-2）、「週に3日以上」（「週に4日以上」と「週に3日程度」）運動・スポーツを行っている人は、60歳以上で44.5%、40～59歳で24.6%、20～39歳で18.8%となっている。このように年齢層が高いほど運動・スポーツを「週3日以上」行っている人が多いことがわかる。前回のデータと比較してみると、週3日以上で1.7ポイント、週1日以上では2.3ポイント上昇している。性別では、男女ともに週3日以上・週1日以上共に微増している（図1-1-3）。年齢層別では、60代以上、40～59歳の週1日以上の数字がそれぞれ、0.6%、8.5%の減少がみられたが、週3日以上の実施率はどの年代層も増加している（図1-1-4）。

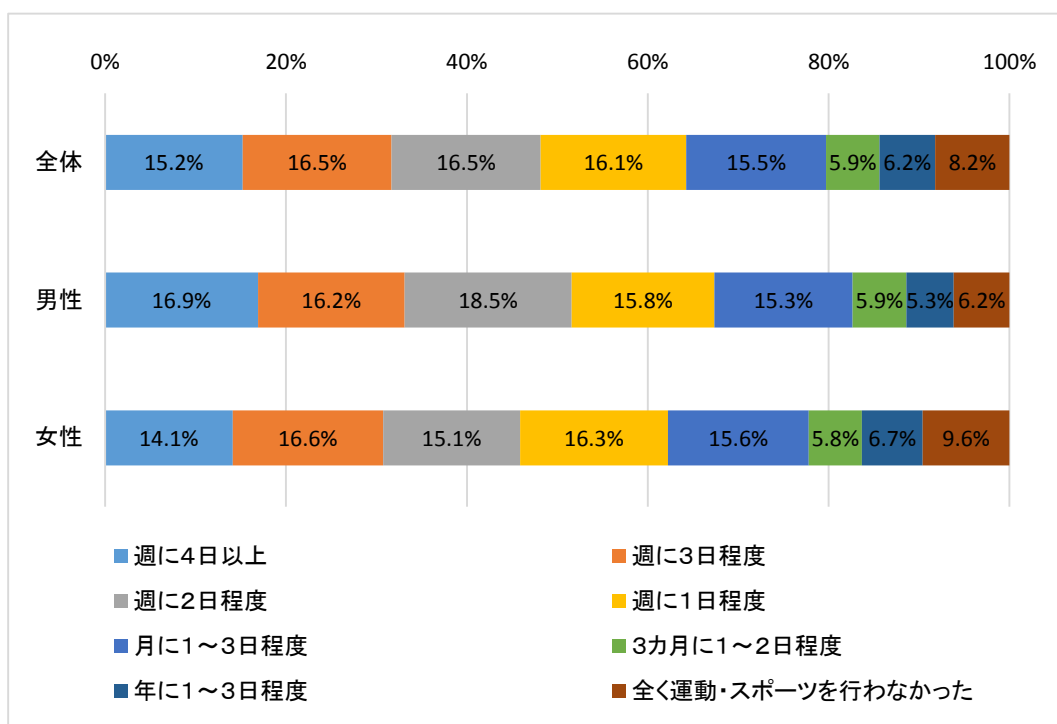


図 1-1-1 運動・スポーツの実施状況（性別）

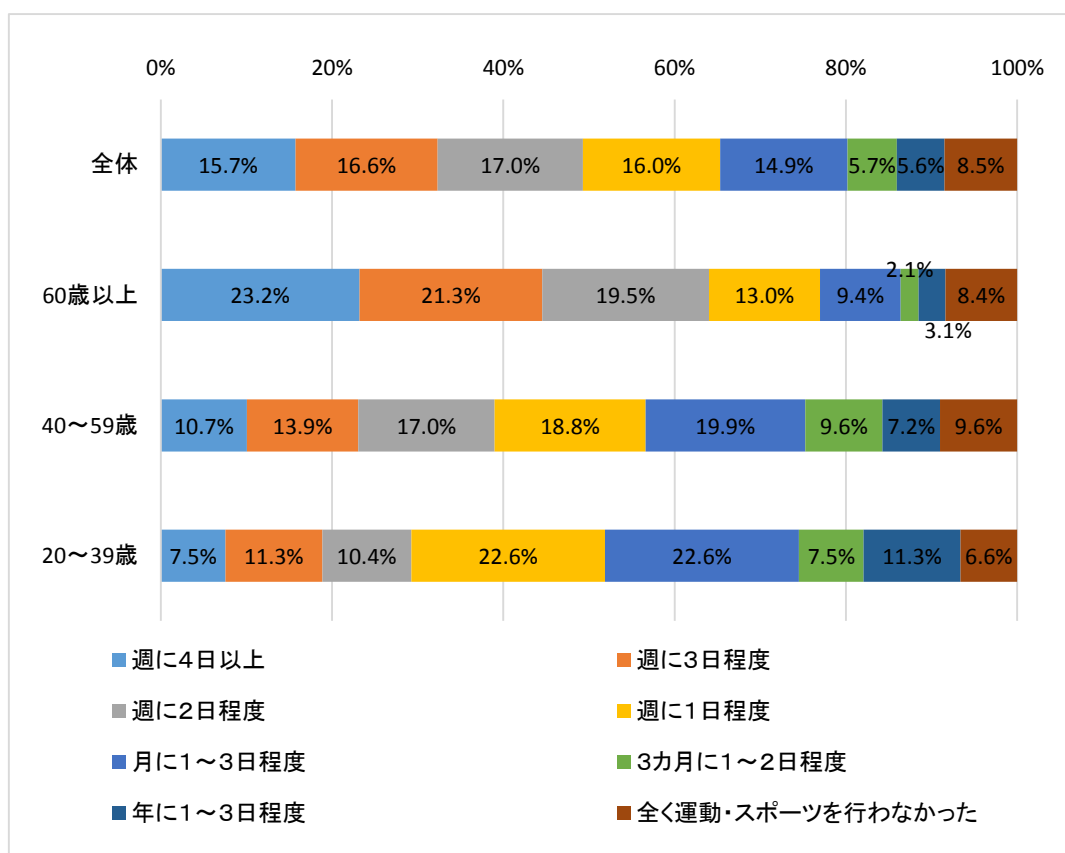


図 1-1-2 運動・スポーツの実施状況（年齢層別）

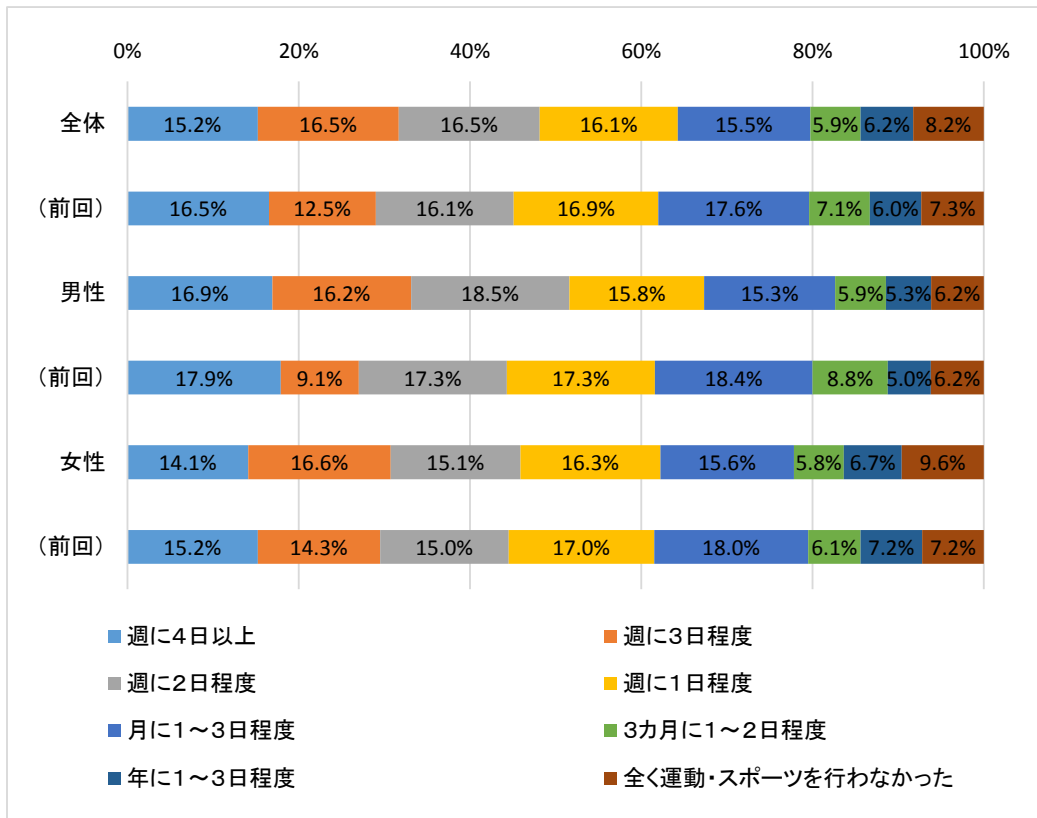


図 1-1-3 運動・スポーツの実施状況（性別・前回比）

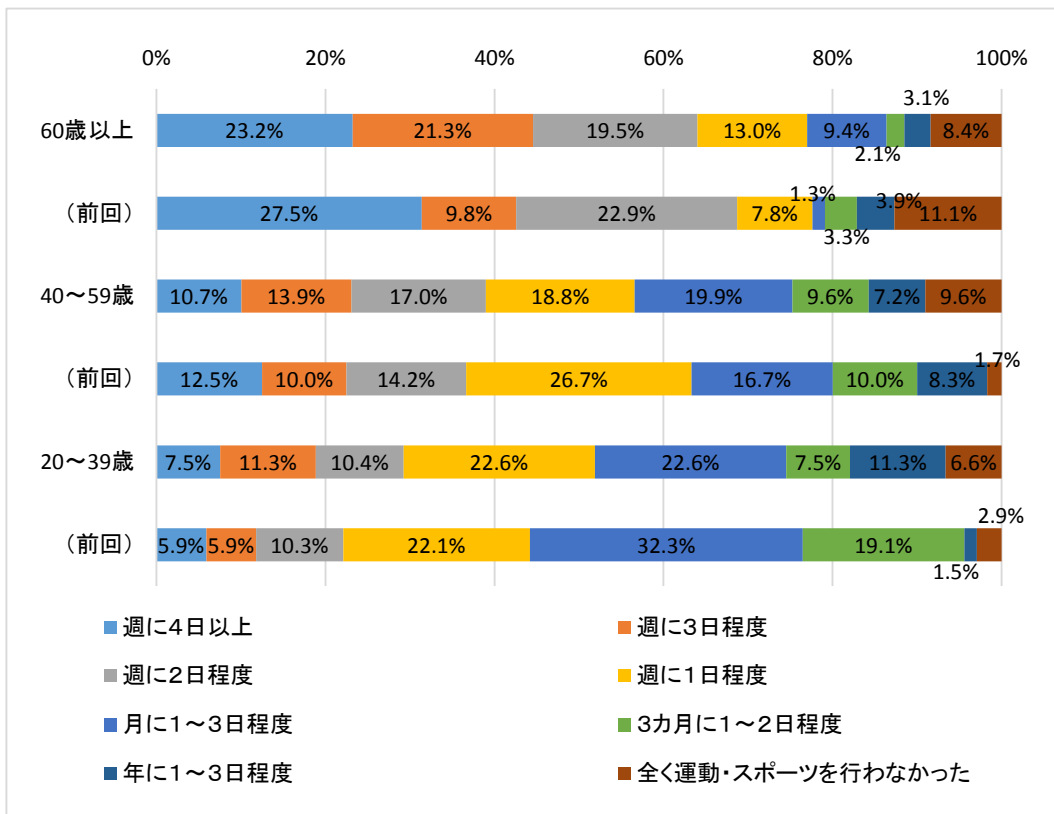


図 1-1-4 運動・スポーツの実施状況（年齢層別・前回比）

1-2 運動・スポーツの実施種目

表 1-2 は、この 1 年間に行った運動・スポーツ種目を表している。1 位「散歩，ウォーキング」(61.9%)，2 位「ストレッチング」(26.5%)，3 位「体操（ラジオ体操含む）」(22.0%)，4 位「ゴルフ（コース）」(12.2%)，5 位「ジョギング，ランニング」(10.8%) の順であった。個人で行える種目が大半を占めている。性別で見ると，男性においては 1 位「散歩，ウォーキング」(57.3%)，2 位「ゴルフ（コース）」(23.9%)，3 位「ストレッチング」(19.7%) となっており，女性においては，1 位「散歩，ウォーキング」(64.9%)，2 位「ストレッチング」(31.0%)，3 位「体操（ラジオ体操含む）」(25.8%) となっている。

前回と比較すると，主に「ゴルフ（コース）」，「ヨガ」，「ゴルフ（練習場）」，「テニス」，「釣り」が増加した一方で，「散歩，ウォーキング」，「ストレッチング」，「体操（ラジオ体操含む）」，「ジョギング，ランニング」，「ハイキング」の減少が目立つ。性別では，主に男性の「ストレッチング」が 2.9 ポイント，「ゴルフ（コース）」が 1.7 ポイント，「ヨガ」が 1.9 ポイント，「ゴルフ（練習場）」が 1.9 ポイント増加している。女性では，主に「ヨガ」が 2.9 ポイント，「卓球」が 0.8 ポイント増加している。

表 1-2 この1年間に行った運動・スポーツ種目（複数回答）

順位	項目	全体		男性		女性	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	散歩, ウォーキング	64.1%	61.9%	60.6%	57.3%	66.4%	64.9%
2	ストレッチング	28.5%	26.5%	16.8%	19.7%	36.4%	31.0%
3	体操(ラジオ体操含む)	26.2%	22.0%	17.1%	16.1%	32.3%	25.8%
4	ゴルフ(コース)	12.0%	12.2%	22.2%	23.9%	5.1%	4.6%
5	ジョギング, ランニング	13.5%	10.8%	19.4%	17.7%	9.6%	6.3%
6	ヨガ	7.6%	10.2%	1.0%	2.9%	12.1%	15.0%
7	ハイキング	10.1%	8.3%	8.9%	8.1%	10.9%	8.5%
8	水泳	12.7%	8.2%	14.9%	7.4%	11.3%	8.8%
9	サイクリング	11.0%	7.9%	14.3%	9.8%	8.7%	6.6%
10	ゴルフ(練習場)	7.4%	7.9%	11.7%	13.6%	4.5%	4.1%
11	テニス	7.0%	7.4%	6.3%	7.6%	7.4%	7.2%
12	登山・スポーツクライミング	7.4%	5.5%	8.3%	6.7%	6.8%	4.7%
13	釣り	3.4%	3.6%	7.3%	7.8%	0.9%	0.9%
14	ダンス(各種ダンス・バレエ含む)	3.8%	3.5%	1.6%	0.9%	5.3%	5.3%
15	卓球	3.1%	3.3%	2.9%	2.2%	3.2%	4.0%
16	スキー	2.5%	3.0%	4.1%	3.8%	1.5%	2.5%
17	マシントレーニング	2.8%	2.9%	2.9%	3.4%	2.8%	2.6%
18	ボウリング	5.4%	2.8%	6.0%	2.9%	4.9%	2.8%
19	野球	2.8%	2.5%	7.0%	5.8%	0.0%	0.3%
20	エアロビクス	1.5%	2.0%	0.0%	0.4%	2.6%	2.9%
21	スキューバダイビング	0.8%	1.8%	1.3%	1.3%	0.4%	2.1%
22	キャンプ	1.7%	1.8%	1.9%	1.8%	1.5%	1.8%
23	サッカー, フットサル	2.5%	1.8%	5.1%	2.7%	0.9%	1.2%
24	バドミントン	1.4%	1.5%	1.0%	0.4%	1.7%	2.2%
25	太極拳	1.3%	1.3%	1.0%	0.7%	1.5%	1.8%
26	バスケットボール	0.9%	1.2%	1.6%	2.2%	0.4%	0.4%
27	弓道	0.1%	0.9%	0.3%	1.6%	0.0%	0.4%
28	バレーボール	1.0%	0.6%	0.6%	0.2%	1.3%	0.9%
29	なわとび	0.9%	0.6%	0.3%	0.2%	1.3%	0.9%
30	ソフトボール	0.6%	0.5%	1.3%	1.3%	0.2%	0.0%
31	サーフィン	0.5%	0.5%	1.3%	0.9%	0.0%	0.3%
32	カヌー	0.4%	0.5%	0.3%	0.4%	0.4%	0.6%
33	クォーターテニス(スポンジテニス)	2.3%	0.5%	1.9%	0.4%	2.6%	0.6%
34	スノーボード	1.8%	0.5%	1.3%	0.9%	2.1%	0.3%
35	ヨット	0.3%	0.5%	0.6%	0.7%	0.0%	0.4%
36	剣道	0.3%	0.4%	0.6%	0.9%	0.0%	0.1%
37	スケート	0.1%	0.4%	0.3%	0.0%	0.0%	0.6%
38	乗馬	0.6%	0.4%	0.0%	0.0%	1.1%	0.6%
39	モータースポーツ	0.6%	0.4%	1.0%	0.4%	0.4%	0.3%
40	ラグビー	0.1%	0.3%	0.3%	0.7%	0.0%	0.0%
41	空手	-	0.3%	-	0.4%	-	0.1%
42	グラウンド・ゴルフ	0.8%	0.3%	1.3%	0.2%	0.4%	0.3%
43	ボクシング	0.6%	0.3%	1.3%	0.2%	0.2%	0.3%
44	少林寺拳法	-	0.2%	-	0.4%	-	0.0%
45	トライアスロン	-	0.2%	-	0.2%	-	0.1%
46	民謡	0.4%	0.2%	0.6%	0.0%	0.2%	0.3%
47	柔道	-	0.2%	-	0.4%	-	0.0%
48	ゲートボール	0.1%	0.1%	0.0%	0.2%	0.2%	0.0%
49	ソフトテニス	0.4%	0.1%	0.6%	0.0%	0.2%	0.1%
50	陸上競技	0.1%	0.1%	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%

1-3 運動・スポーツの実施時間

表1-3は、スポーツ実施者の活動時間帯を表している。全体の1位は「平日の午前」が33.9%で、次いで「休日の午前」が24.2%と前回と同様の結果になっている。前回の調査では、「平日の午後」が3番目に多い項目であったが、今回の調査では「休日の午後」が3番目に多い項目となっている。性別で見ると、男性の最も多い項目は「休日の午前」、次いで「休日の午後」である。一方、女性の最も多い項目は「平日の午前」、次いで「平日の午後」となっている。前回の調査結果と同様に、男性は休日に運動する傾向が高く、女性は平日に運動する傾向が高い傾向がある。

表1-3 運動・スポーツの実施時間

順位	項目	全体		男性		女性	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	平日の午前	34.1%	33.9%	24.7%	26.3%	40.4%	39.6%
2	休日の午前	29.5%	24.2%	42.9%	34.3%	20.6%	19.0%
3	休日の午後	25.6%	24.0%	32.4%	32.7%	21.0%	19.7%
4	特に決まっていない	21.3%	23.3%	18.2%	21.2%	23.4%	25.8%
5	平日の午後	27.1%	16.8%	21.7%	21.5%	30.7%	27.7%
6	平日の夜	17.5%	14.3%	14.6%	13.5%	19.4%	15.7%
7	早朝	9.9%	6.4%	14.0%	6.9%	7.1%	3.3%
8	休日の夜	4.6%	3.0%	4.2%	3.2%	1.7%	3.3%

1-4 運動・スポーツ実施理由

表1-4は、運動・スポーツの実施理由を表している。全体で最も多かった項目は「健康・体力づくりのため」が72.3%、次いで「楽しみ、気晴らしとして」が62.8%、「運動不足を感じるから」で53.8%と前回と同様の結果となっている。性別で見ると、男性では「美容や肥満解消のため」が年々増加する一方で、「家族とのふれあいとして」が減少している。女性では、「運動不足を感じるから」が年々増加する一方で、男女ともに「友人・仲間との交流として」が減少している結果となっている。

表1-4 運動・スポーツの実施理由（複数回答）

順位	項目	全体		男性		女性	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	健康・体力づくりのため	76.0%	72.3%	76.3%	74.8%	76.0%	75.0%
2	楽しみ、気晴らしとして	65.9%	62.8%	63.6%	65.4%	68.0%	65.2%
3	運動不足を感じるから	51.7%	53.8%	52.3%	53.1%	51.9%	57.7%
4	友人・仲間との交流として	38.4%	31.7%	38.9%	34.8%	37.0%	31.9%
5	美容や肥満解消のため	28.6%	28.1%	15.2%	16.4%	37.6%	37.3%
6	自然とふれあうため	25.7%	22.9%	26.8%	26.2%	25.5%	22.5%
7	家族のふれあいとして	15.4%	14.1%	15.8%	15.3%	16.2%	14.5%
8	自己の記録や能力を向上させるため	7.5%	7.3%	10.2%	9.7%	5.7%	6.3%
9	精神修養や訓練のため	4.8%	5.2%	6.5%	7.8%	3.5%	4.0%
10	その他	1.4%	1.3%	1.5%	2.2%	1.0%	0.9%
11	わからない	1.3%	1.6%	1.2%	3.6%	1.4%	0.9%

1-5 運動・スポーツの実施仲間

表1-5は、運動・スポーツの実施仲間を表している。全体で最も多かった項目は「自分一人で」の65.8%、次いで「家族と」が36.4%、「友人と」が30.7%であり、前回と同様の結果となっている。性別で見ると、男性では「自分一人で」が増加する一方で、「友人と」が減少している。女性では、「家族と」や「友人と」が増加する一方で、「自分一人で」が減少している結果となっている。

表1-5 運動・スポーツの実施仲間（複数回答）

順位	項目	全体		男性		女性	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	自分一人で	64.6%	65.8%	64.8%	73.6%	64.5%	62.6%
2	家族と	36.8%	36.4%	27.9%	30.8%	42.7%	61.8%
3	友人と	35.5%	30.7%	36.6%	33.2%	34.8%	52.3%
4	クラブやサークル、同好会の人と	17.5%	16.3%	18.9%	24.7%	16.5%	27.6%
5	職場の人や学校の仲間と	8.1%	7.7%	15.4%	14.6%	3.3%	3.3%
6	自分が住んでいる地域(近所)の人と	7.8%	6.1%	4.1%	4.2%	10.3%	7.3%
7	その他	1.6%	2.0%	1.5%	1.1%	1.7%	3.3%

1-6 運動・スポーツ実施の阻害要因

表1-6は、運動・スポーツの実施の阻害要因を表している。全体で最も多い項目が「家事が忙しい」で19.7%、次いで「身近に施設がない」が17.6%、「勤務時間が長い」が16.8%であった。「運動が苦手である」が前回と比較して増加しており、「世話を必要とする人がいる」が減少している。男性は最も多い項目が「勤務時間が長い」、次いで「休暇がない」である。女性は最も多い項目が「家事が忙しい」、次いで「身近に施設がない」である。前回の結果では、男性は女性と同様に2番目に多い項目は「身近に施設がない」であったが、今回の調査では「休暇がない」が2番目に多い項目となっている。

表1-6 運動・スポーツ実施の阻害要因（複数回答）

順位	項目	全体		男性		女性	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	家事が忙しい	16.7%	19.7%	4.7%	6.1%	24.6%	33.9%
2	身近に施設がない	21.0%	17.6%	22.5%	17.9%	20.1%	29.4%
3	勤務時間が長い	19.1%	16.8%	26.9%	21.4%	14.0%	28.7%
4	経済的なゆとりがない	17.7%	16.7%	16.3%	17.4%	18.7%	27.9%
5	運動が苦手である	10.6%	13.3%	4.4%	6.5%	14.8%	22.2%
6	休暇がない	12.9%	12.8%	16.3%	19.0%	10.6%	21.6%
7	運動すると疲れる	11.3%	12.4%	8.9%	11.0%	13.0%	21.9%
8	年をとっている	11.9%	12.3%	14.8%	16.3%	10.0%	19.9%
9	子どもがいる(育児に忙しい)	11.2%	11.1%	7.4%	6.6%	13.8%	21.7%
10	運動・スポーツをするのが面倒である	10.4%	11.0%	7.7%	10.6%	12.2%	18.9%
11	運動・スポーツに関する情報が不足している	10.2%	10.5%	8.9%	11.5%	11.0%	17.2%
12	一緒に行く仲間がいない	11.8%	9.3%	13.0%	12.6%	11.0%	15.9%
13	健康上の理由から	7.1%	6.6%	6.5%	5.7%	7.5%	11.0%
14	世話を必要とする人がいる	6.7%	5.6%	2.7%	2.2%	9.4%	9.7%
15	通勤時間が長い	3.4%	5.4%	4.7%	7.5%	2.6%	9.0%
16	指導者がいない	4.1%	3.9%	4.4%	5.8%	3.9%	6.9%

1-7 運動・スポーツの実施希望種目

表 1-7 は、これから始めてみたい運動・スポーツ種目を示している。1位「ヨガ」(23.0%)、2位「水泳」(21.2%)、3位「散歩, ウォーキング」(18.3%)、4位「ストレッチング」(18.1%)、5位「ハイキング」(18.0%)の順である。個人で行える種目が大半を占めている。性別で見ると、男性に多いのは「ジョギング, ランニング」(21.0%)、「水泳」(18.8%)、「サイクリング」(18.3%)であり、女性に多いのは「ヨガ」(31.3%)、「水泳」(22.8%)、「散歩, ウォーキング」(19.2%)である。前回と比較してみると、多くの種目において減少傾向にある。

表1-7 これから始めてみたい運動・スポーツ種目（複数回答）

順位	項目	全体		男性		女性	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	ヨガ	26.0%	23.0%	10.3%	10.3%	35.4%	31.3%
2	水泳	26.8%	21.2%	27.8%	18.8%	26.3%	22.8%
3	散歩, ウォーキング	23.5%	18.3%	18.6%	16.8%	26.5%	19.2%
4	ストレッチング	23.0%	18.1%	21.3%	16.8%	24.0%	18.9%
5	ハイキング	21.4%	18.0%	22.1%	17.9%	21.0%	18.1%
6	ジョギング, ランニング	19.7%	17.1%	24.0%	21.0%	17.1%	14.5%
7	サイクリング	17.5%	14.1%	22.1%	18.3%	14.8%	11.3%
8	テニス	15.7%	13.8%	12.9%	12.3%	17.4%	14.8%
9	登山・スポーツクライミング	16.7%	12.1%	22.4%	13.9%	13.2%	10.9%
10	体操(ラジオ体操含む)	15.1%	10.9%	13.3%	10.3%	16.2%	11.3%
11	ダンス(各種ダンス・バレエ含む)	13.8%	9.8%	4.2%	2.9%	19.6%	14.2%
12	ゴルフ(コース)	11.7%	9.1%	14.4%	11.6%	10.0%	7.5%
13	卓球	9.0%	8.0%	11.4%	8.1%	7.5%	7.9%
14	乗馬	8.6%	7.4%	6.8%	5.1%	9.6%	8.8%
15	バドミントン	9.4%	7.1%	6.5%	4.9%	11.2%	8.5%
16	太極拳	8.4%	6.9%	8.0%	3.6%	8.7%	9.1%
17	釣り	8.6%	6.7%	16.3%	12.1%	3.9%	3.2%
18	ゴルフ(練習場)	8.3%	6.6%	8.7%	6.9%	8.0%	6.3%
19	マシントレーニング	10.3%	6.6%	12.2%	8.3%	9.1%	5.4%
20	キャンプ	4.7%	6.0%	7.6%	5.8%	3.0%	6.2%
21	ソフトテニス	9.4%	5.9%	10.6%	5.1%	8.7%	6.5%
22	スキー	4.9%	5.4%	5.3%	6.5%	4.6%	4.7%
23	ボウリング	8.1%	5.1%	8.7%	5.8%	7.8%	4.7%
24	エアロビクス	5.6%	4.4%	2.7%	0.4%	7.3%	7.0%
25	スキューバダイビング	7.8%	4.4%	10.6%	5.4%	6.2%	3.8%
26	弓道	2.9%	3.7%	2.7%	2.5%	3.0%	4.6%
27	なわとび	4.3%	3.7%	2.7%	2.5%	5.3%	4.6%
28	カヌー	4.1%	3.2%	6.5%	4.0%	2.7%	2.6%
29	スポーツ吹矢	-	3.1%	-	2.7%	-	3.4%
30	ヨット	4.3%	3.1%	4.9%	5.4%	3.9%	1.6%
31	サーフィン	3.7%	2.7%	4.6%	2.7%	3.2%	2.8%
32	野球	2.1%	2.5%	3.4%	5.4%	1.4%	0.6%
33	スノーボード	5.1%	2.5%	4.9%	2.7%	5.3%	2.3%
34	モータースポーツ	2.3%	2.4%	5.3%	4.5%	0.5%	1.0%
35	グラウンド・ゴルフ	3.7%	2.3%	4.6%	2.7%	3.2%	2.1%
36	アーチェリー	3.9%	2.1%	5.3%	2.2%	3.0%	2.1%
37	パラグライダー	5.1%	2.1%	6.8%	2.0%	4.1%	2.2%
38	スケート	2.0%	2.1%	0.8%	2.0%	2.7%	2.2%
39	ソフトボール	1.9%	2.0%	2.7%	3.8%	1.4%	0.7%
40	クォーターテニス(スポンジテニス)	2.0%	1.8%	1.1%	0.9%	2.5%	2.3%
41	バレーボール	2.4%	1.6%	2.3%	2.2%	2.5%	1.2%
42	サッカー, フットサル	2.7%	1.5%	4.2%	2.7%	1.8%	0.7%
43	バスケットボール	1.4%	1.4%	1.9%	2.2%	1.1%	0.9%
44	ハングライダー	1.3%	1.4%	1.9%	1.8%	0.9%	1.2%
45	少林寺拳法	1.1%	1.3%	1.9%	1.6%	0.7%	1.2%
46	空手	1.4%	1.2%	1.9%	1.6%	1.1%	1.0%
47	ゲートボール	2.3%	1.1%	3.4%	1.6%	1.6%	0.7%
48	ボクシング	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.0%
49	民謡	2.3%	1.0%	1.9%	0.9%	2.5%	1.0%
50	トライアスロン	1.6%	0.9%	3.0%	1.8%	0.7%	0.3%
51	陸上競技	0.1%	0.8%	0.4%	1.3%	0.0%	0.4%
52	ベタンク	1.7%	0.8%	1.5%	0.9%	1.8%	0.7%
53	剣道	1.4%	0.7%	2.3%	0.4%	0.9%	0.9%
54	ボート(ドラゴンボート)	0.3%	0.7%	0.4%	1.1%	0.2%	0.4%
55	ボードセーリング	1.7%	0.7%	3.0%	0.9%	0.9%	0.6%
56	柔道	0.4%	0.6%	0.8%	1.3%	0.2%	0.1%
57	ラグビー	0.4%	0.3%	1.1%	0.7%	0.0%	0.0%
58	アメリカンフットボール	-	0.2%	-	0.4%	-	0.0%
59	ローンボウルス	0.3%	0.1%	0.4%	0.2%	0.2%	0.0%

2. 健康・体力の状況

2-1 健康状態の自己評価

図2-1-1は、全体及び性別の健康状態の自己評価を示している。「大いに健康」と思っている人が全体で11.7%、男性で11.8%、女性で11.7%である。「まあ健康」と答えた人は、全体で74.2%、男性で72.4%、女性で75.2%であり、性差はほとんど見られない。「大いに健康」と「まあ健康」を合わせると、85.9%になり前回の調査時と比較すると1.9ポイントの微増が確認できる。芦屋市民の多数は自己の健康状態を良好であると評価している。

性別・年齢層別で見ると（図2-1-2、図2-1-3）、男女ともに20～39歳において「大いに健康」と答えた人の割合が高い。「大いに健康」と「まあ健康」に着目してみても、前回と同様に年齢層が若いほど値が高い傾向が確認できる。

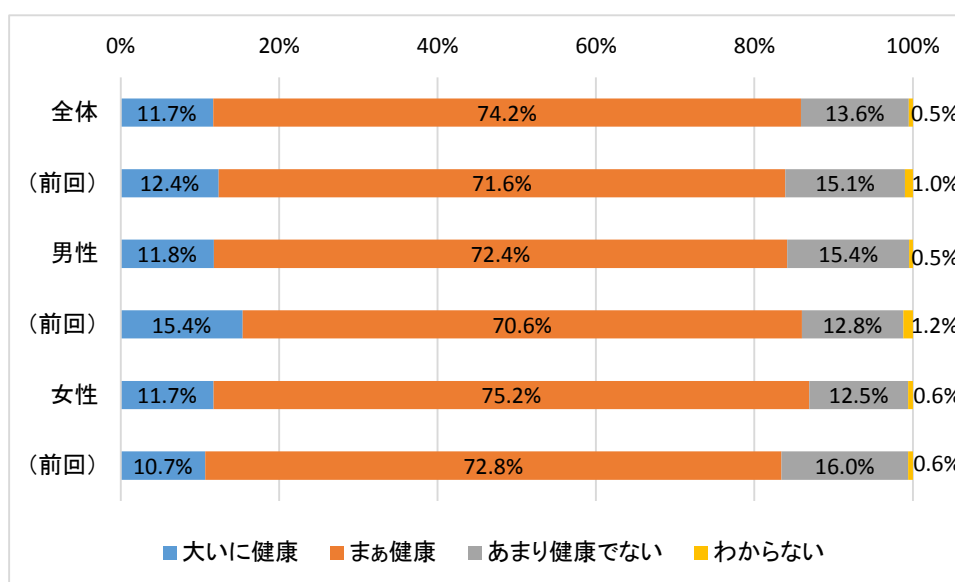


図 2-1-1 健康状態の自己評価

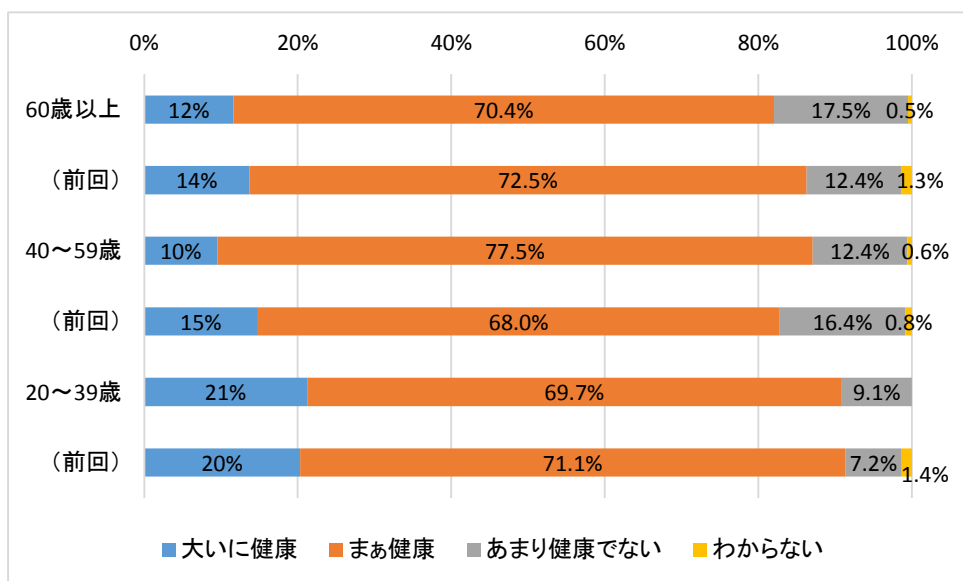


図 2-1-2 健康状態の自己評価（男性・年齢層別）

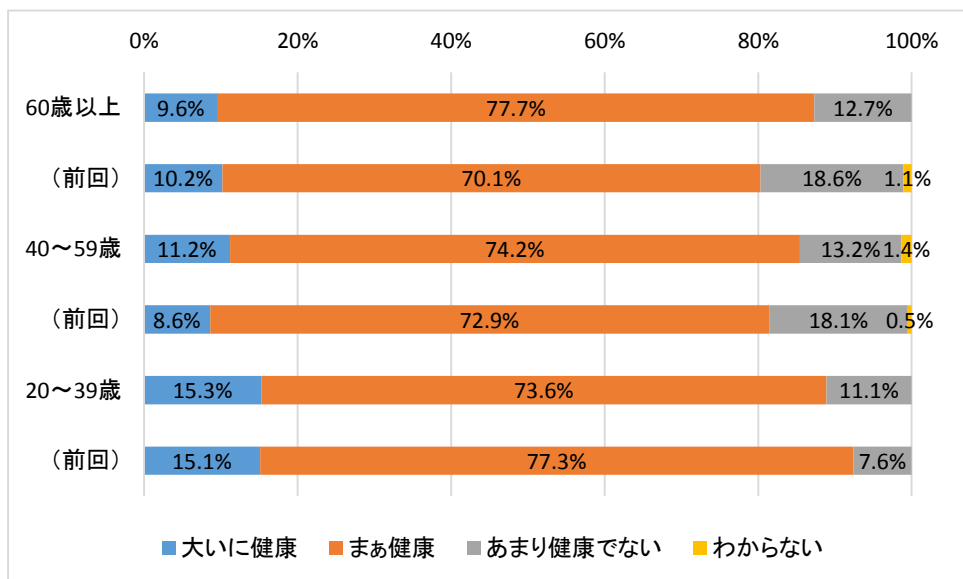


図 2-1-3 健康状態の自己評価（女性・年齢層別）

2-2 体力の自己評価

図2-2-1は、全体及び性別の体力の自己評価を示している。「自信がある」と答えた人の割合は全体で9.5%、男性で12.9%、女性で7.6%となっており、前回比でおよそ1ポイントの微減が確認できる。一方で、「不安がある」と答えた人の割合は、全体で26.9%、男性で20.5%、女性で31.4%となっており、男性より女性が上回っている。また、前回と比較すると、男性で0.2ポイントの微増が確認されたが、全体・女性では1~2ポイントの微減が確認されており、全体的に、体力は「普通である」と答えた人の割合が増えている。

性別・年齢層別にみると（図2-2-2、図2-2-3）、男女ともに40~59歳において「不安がある」と回答した人の割合が減少している。逆に男性では60代以上、女性では20~39歳で「不安がある」と答えた人の割合が3~5ポイント増加している。

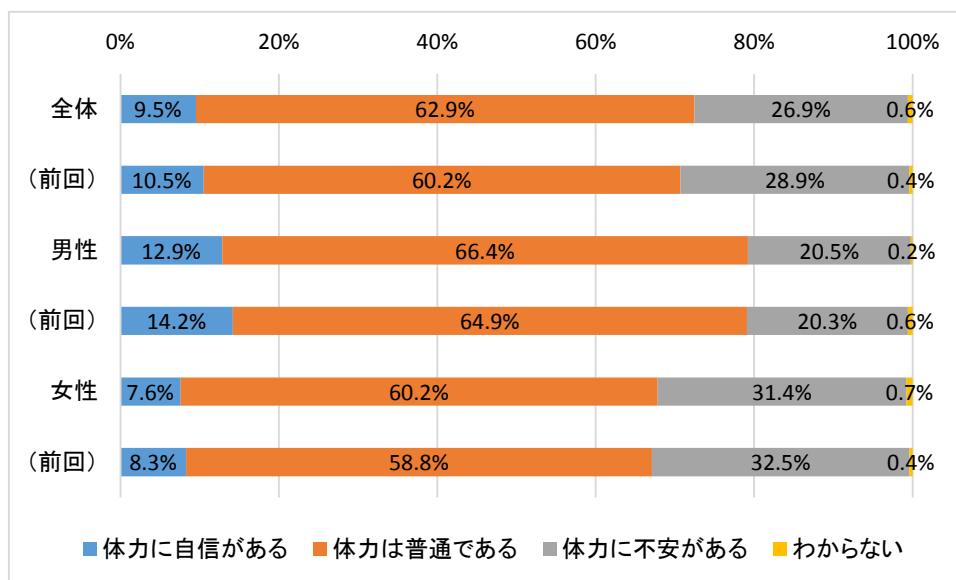


図 2-2-1 体力の自己評価

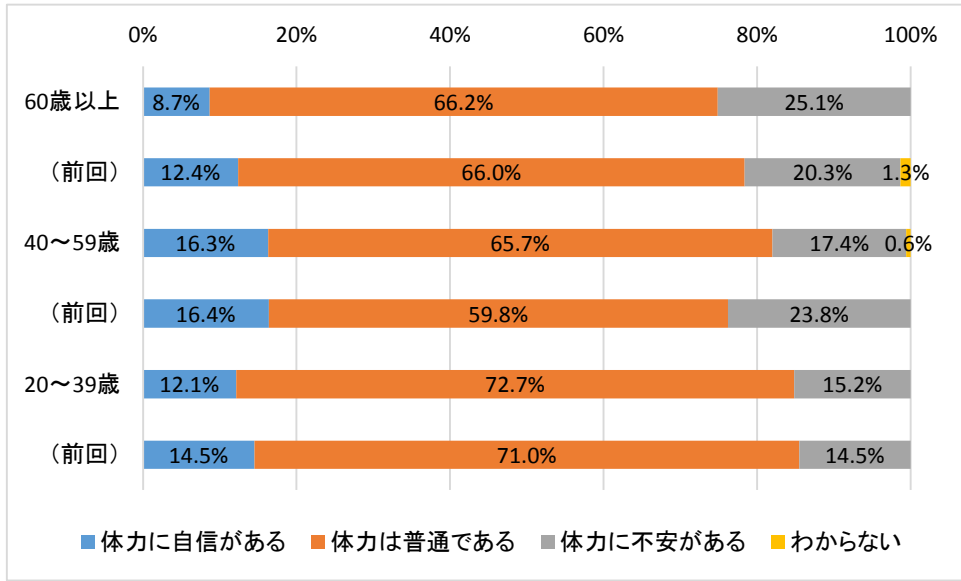


図 2-2-2 体力の自己評価（男性・年齢層別）

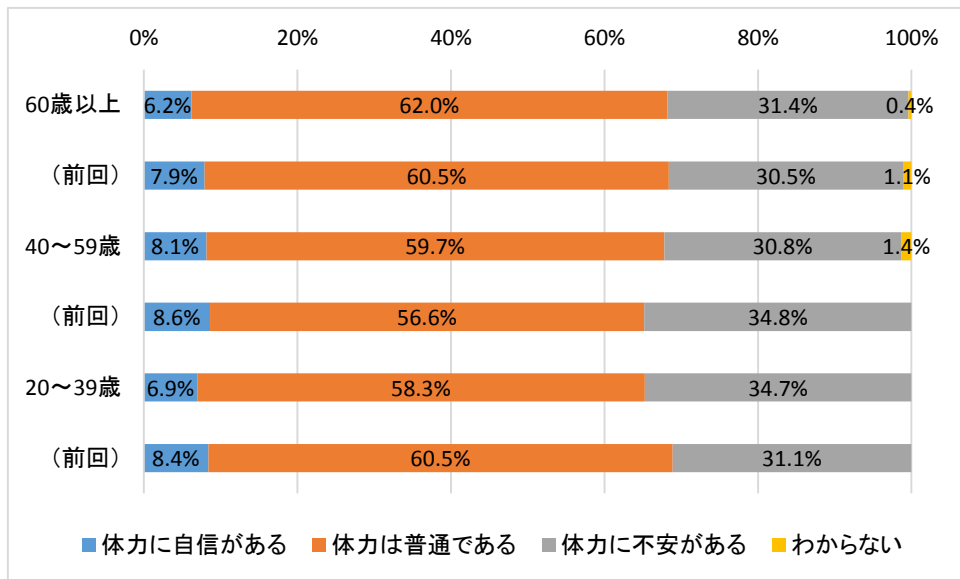


図 2-2-3 体力の自己評価（女性・年齢層別）

2-3 健康・体力に関する自覚症状

表2-3は、健康・体力に関する自覚症状を表している。全体で最も多い項目は「体力の衰え」が62.6%で、次いで「運動不足」が50.9%、「精神的な疲労やストレス」が42.3%である。これは、前回と同様の結果であった。性別で見ると、男性は「体力の衰え」が増加しており、女性は「運動不足」が特に増加している。

表2-3 健康・体力に関する自覚症状（複数回答）

順位	項目	全体		男性		女性	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	体力の衰え	63.2%	62.6%	60.3%	62.2%	63.6%	63.9%
2	運動不足	49.8%	50.9%	49.6%	47.5%	51.9%	54.4%
3	精神的な疲労やストレス	43.1%	42.3%	38.3%	38.5%	47.7%	46.5%
4	肉体的な疲労	30.4%	28.2%	29.9%	28.5%	31.2%	28.1%
5	生活習慣病に対する心配	26.8%	27.4%	33.0%	33.3%	22.5%	24.1%
6	肥満	21.4%	20.6%	26.4%	22.9%	18.4%	19.5%

2-4 健康・体力への配慮

図2-4-1は、健康と体力への配慮を全体及び性別で示している。「常に注意を払っている」は全体で34.6%、男性で35.2%、女性で32.9%となっている。各項目ともに前回と比べて3~5ポイント程度減少している。性別・年齢層別でみると（図2-4-2、図2-4-3）、男女問わず年齢層が上がるにつれて「常に注意を払っている」と「時々注意を払っている」を合わせた数字が高くなっている。年齢層が上がるにつれて全体的には健康・体力に注意を払う傾向がみられる。前回と比較すると、男性は60代以上、女性は40~59歳において「常に注意を払っている」の割合が減少している。男性では20~39歳において「あまり注意を払っていない」割合が増加しているがそれ以外の年齢層では減少傾向がみられる。

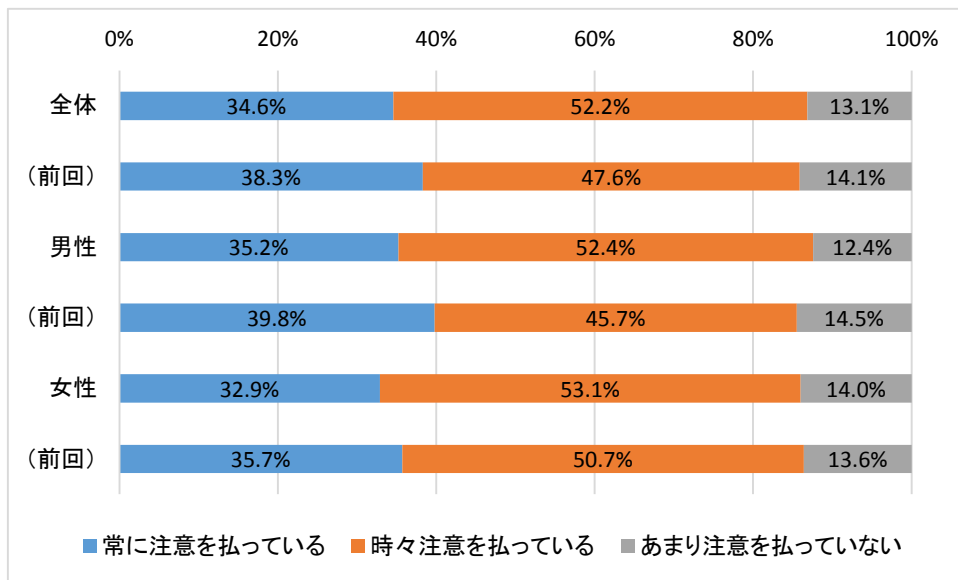


図 2-4-1 健康と体力への配慮

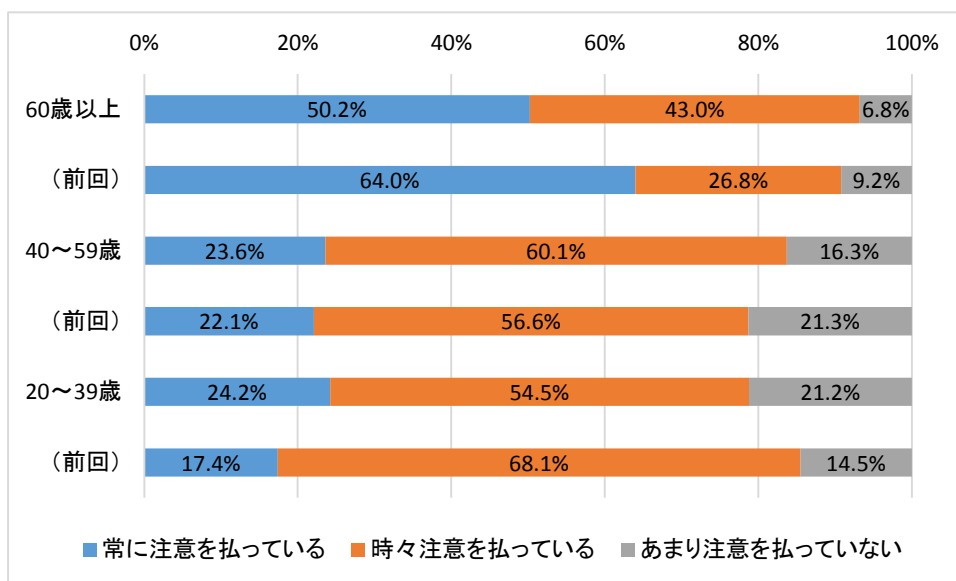


図 2-4-2 健康と体力への配慮（男性・年齢層別）

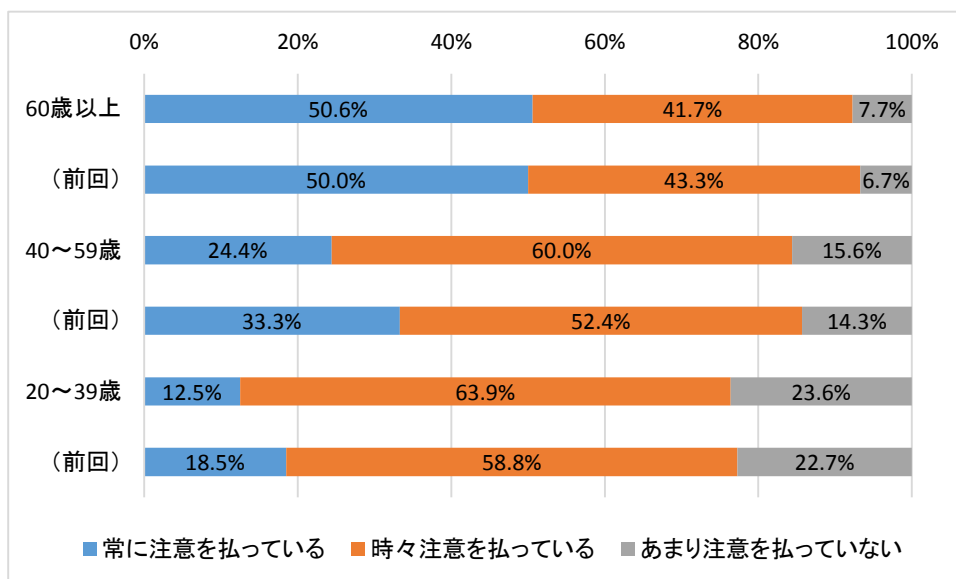


図 2-4-3 健康と体力への配慮（女性・年齢層別）

2-5 健康法

表 2-5 は、健康法について表している。全体で最も多い項目は「食生活に気をつける」が 69.5%，次いで「睡眠や休養をよくとる」が 56.2%，「運動やスポーツ（体操や散歩を含む）をする」が 50.6%である。男性においては前回の結果と大きく変化は見られないが、女性においては、「食生活に気をつける」において 5.1 ポイントの減少がみられる。

表 2-5 健康法（複数回答）

順位	項目	全体		男性		女性	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	食生活に気をつける	72.7%	69.5%	61.6%	62.9%	80.0%	74.9%
2	睡眠や休養をよくとる	60.6%	56.2%	54.6%	52.0%	63.7%	60.6%
3	運動やスポーツ(体操や散歩を含む)をする	52.1%	50.6%	53.2%	53.8%	50.7%	49.8%
4	規則正しい生活をする	46.6%	44.5%	36.1%	36.9%	53.8%	50.2%
5	酒、タバコは控える	22.2%	22.1%	24.6%	26.5%	20.4%	19.6%
6	心掛けていることはない	6.5%	5.2%	9.0%	6.1%	5.0%	4.8%
7	その他	4.5%	1.9%	4.0%	0.5%	4.9%	1.0%
8	分からない	1.1%	0.8%	1.2%	0.5%	1.2%	0.9%

2-6 子どもの運動不足とその理由

表 2-6 は、子どもの運動不足とその理由について表している。全体で最も多かった項目が「テレビを見る時間やゲームをする時間などが多く、外で遊ばなくなった」の 73.4%，次いで「勉強・塾などに忙しく時間がない」が 58.8%，「遊んだり運動したりする場所がない」が 44.5%である。前回の調査と比較すると「遊んだり運動したりする場所がない」が増加しているが、それ以外の項目では全体的に減少傾向がみられる。性別で見ると男性は「テレビを見る時間やゲームをする時間などが多く、外で遊ばなくなった」が減少する一方で、女性は「遊んだり運動したりする場所がない」が増加している。

表 2-6 子どもの運動不足とその理由（複数回答）

順位	項目	全体		男性		女性	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	テレビを見る時間やゲームをする時間などが多く、外で遊ばなくなった	77.4%	73.4%	80.1%	73.3%	76.9%	75.5%
2	勉強・塾などに忙しくて時間がない	58.9%	58.8%	51.2%	49.8%	64.3%	66.1%
3	遊んだり運動したりする場所がない	41.9%	44.5%	43.6%	42.5%	41.6%	46.4%
4	社会環境の変化(交通事故、犯罪等)に伴い、外は危険である	44.4%	41.6%	36.4%	36.4%	51.3%	46.7%
5	社会や親が遊びや運動の大切さを教えていない	34.5%	30.4%	37.6%	33.5%	31.3%	28.7%
6	親が過保護、教育熱心で子どもを外に出さない	33.5%	29.0%	38.7%	32.1%	30.1%	27.3%
7	遊んだり運動したりする方法を知らない	35.1%	28.9%	38.4%	31.7%	33.0%	26.9%
8	遊んだり運動したりする仲間(友達)がいない	31.9%	26.9%	28.3%	29.0%	33.2%	25.6%
9	歩く機会が少ない	28.6%	26.0%	23.7%	21.9%	32.0%	28.7%
10	その他	5.3%	3.1%	4.6%	1.8%	5.6%	2.1%
11	わからない	1.5%	2.8%	1.4%	2.9%	1.6%	2.4%

3. スポーツ行事・クラブへの参加

3-1 スポーツ行事への参加

図3-1は、この1年間に市教育委員会や市体育協会、スポーツクラブ21（コムスク）などが催すスポーツ行事に参加したかどうかを示している。「参加した」が全体8.1%、男性7.6%、女性8.2%となっている。また、「参加しなかった」は全体53.2%、男性50.1%、女性54.8%となっており、女性の割合が高い。「知らなかった」は全体35.0%、男性37.9%、女性33.7%となっており、男性の割合が高くなっている。不参加の人（「参加しなかった」と「知らなかった」）は88.2%になっており、参加率としては低いものになっている。

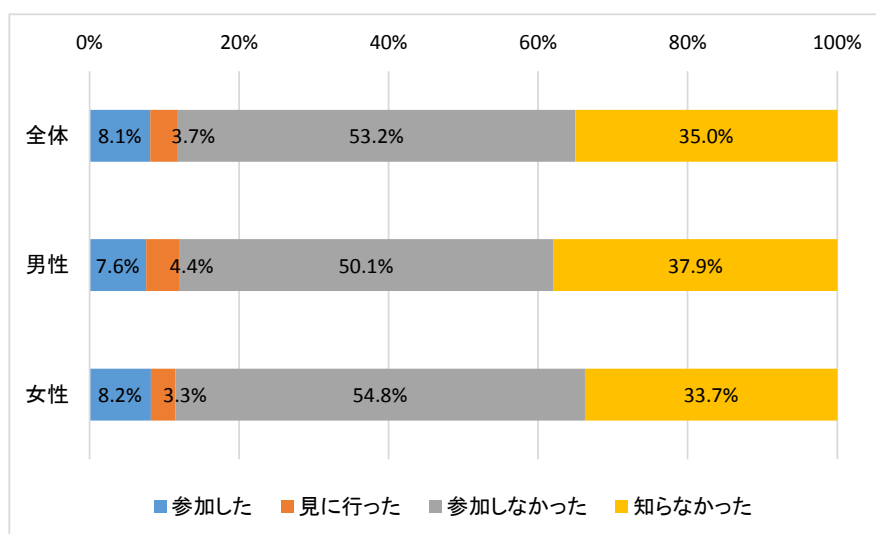


図3-1 この1年のスポーツ行事への参加状況

3-2 参加したい地域スポーツ行事

表3-2は、参加したい地域スポーツ行事を表している。全体では「体力テスト測定」が26.4%と最も多く、次いで「レクリエーション・イベント」で23.3%である。前回の結果と比較すると、「レクリエーション・イベント」と「体力テスト測定」の順位が入れ替わっている。性別で見ると、男性は「体力テスト測定」や「レクリエーション・イベント」に参加したい割合が高く、女性は「体力テスト測定」に参加したい割合が高い。

表3-2 参加したい地域のスポーツ行事の内容（複数回答）

順位	項目	全体		男性		女性	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	体力テスト測定	24.0%	26.4%	23.2%	27.8%	24.6%	25.7%
2	レクリエーション・イベント	26.6%	23.3%	27.2%	27.4%	25.8%	20.8%
3	参加したいとは思わない	21.3%	21.4%	20.8%	23.1%	22.3%	20.5%
4	わからない	18.1%	17.3%	16.7%	11.3%	18.4%	22.3%
5	スポーツ教室	19.0%	17.3%	15.5%	14.5%	22.5%	19.8%
6	野外活動(キャンプ、ハイキング等)	20.2%	16.5%	24.6%	20.4%	16.6%	14.6%
7	スポーツ競技大会	7.5%	9.2%	12.9%	15.6%	4.5%	5.5%
8	その他	1.4%	0.7%	20.8%	0.8%	1.2%	0.8%

3-3 参加したいスポーツ教室

表 3-3 は, 3-2 でスポーツ教室に参加したいと回答した人の中から具体的な種目をあげてもらい, それらを一覧にしたものである。1 位「ヨガ」(7.4%), 2 位「ストレッチング」(6.6%), 3 位「散歩, ウォーキング」(4.8%), 4 位「水泳」(4.3%), 5 位「テニス」(4.1%) の順である。性別で見ると, 男性においては 1 位「テニス」(5.4%), 2 位「散歩・ウォーキング」(4.5%) となっており, 女性においては 1 位「ヨガ」(10.1%), 2 位「ストレッチング」(8.5%) となっている。

表 3-3 参加したいスポーツ教室（複数回答）

順位	項目	全体	男性	女性
1	ヨガ	7.4%	3.1%	10.1%
2	ストレッチング	6.6%	3.6%	8.5%
3	散歩, ウォーキング	4.8%	4.5%	5.0%
4	水泳	4.3%	3.1%	5.0%
5	テニス	4.1%	5.4%	3.2%
6	体操(ラジオ体操含む)	3.6%	2.0%	4.7%
7	ゴルフ(練習場)	3.2%	4.3%	2.5%
8	ダンス(各種ダンス・バレエ含む)	2.5%	0.9%	3.5%
9	ジョギング, ランニング	2.2%	2.5%	2.1%
10	太極拳	2.1%	0.9%	2.9%
11	卓球	1.7%	1.1%	2.1%
12	登山・スポーツクライミング	1.7%	2.5%	1.2%
13	バドミントン	1.7%	1.6%	1.8%
14	弓道	1.6%	1.6%	1.6%
15	エアロビクス	1.5%	0.4%	2.2%
16	乗馬	1.5%	0.7%	2.1%
17	ハイキング	1.5%	2.0%	1.2%
18	ゴルフ(コース)	1.3%	2.2%	0.7%
19	サイクリング	1.0%	1.3%	0.7%
20	スキー	1.0%	1.8%	0.4%
21	ヨット	0.9%	0.9%	0.9%
22	釣り	0.8%	1.8%	0.1%
23	サッカー, フットサル	0.7%	0.9%	0.6%
24	マシントレーニング	0.7%	0.7%	0.7%
25	ボウリング	0.7%	0.9%	0.6%
26	サーフィン	0.6%	0.7%	0.6%
27	ソフトテニス	0.5%	0.4%	0.6%
28	カヌー	0.5%	0.9%	0.3%
29	スポーツ吹矢	0.5%	0.4%	0.6%
30	バレーボール	0.4%	0.7%	0.3%
31	アーチェリー	0.4%	0.7%	0.3%
32	空手	0.4%	0.9%	0.1%
33	バスケットボール	0.4%	0.7%	0.3%
34	スノーボード	0.4%	0.7%	0.3%
35	キャンプ	0.4%	0.7%	0.1%
36	グラウンド・ゴルフ	0.4%	0.7%	0.1%
37	スケート	0.3%	0.0%	0.4%
38	柔道	0.3%	0.4%	0.1%
39	クォーターテニス(スポンジテニス)	0.2%	0.2%	0.1%
40	ボート(ドラゴンボート)	0.2%	0.2%	0.1%
41	陸上競技	0.2%	0.4%	0.0%
42	ゲートボール	0.2%	0.2%	0.1%
43	剣道	0.2%	0.2%	0.1%
44	パラグライダー	0.2%	0.2%	0.1%
45	ペタンク	0.2%	0.0%	0.3%
46	ボードセーリング	0.2%	0.4%	0.0%
47	ラグビー	0.2%	0.2%	0.1%
48	アメリカンフットボール	0.1%	0.2%	0.0%
49	少林寺拳法	0.1%	0.0%	0.1%
50	アイスホッケー	0.1%	0.0%	0.1%
51	なわとび	0.1%	0.2%	0.0%
52	民謡	0.1%	0.0%	0.1%
53	野球	0.1%	0.0%	0.1%
54	ソフトボール	0.1%	0.2%	0.0%
55	ボクシング	0.1%	0.0%	0.1%

3-4 スポーツクラブ・同好会への加入

図3-4-1は、スポーツクラブや同好会の加入状況を示している。「加入している」は全体で28.3%（男性27.7%、女性29.3%）であり、前回調査の27.3%より微増している。全国平均の17.9%と比較すると、10ポイント以上高いことがわかる。「これまで加入したことはない」では男性48.4%、女性42.7%と男性の割合が高くなっている。性別・年代別（図3-4-2、図3-4-3）でみると、男女ともに年齢層が上がるにつれて加入している人の割合が高くなっている。前回と比べ男性は20～39歳の「過去に加入していたが、今は加入していない」の割合が高くなっており、女性においては減少している。

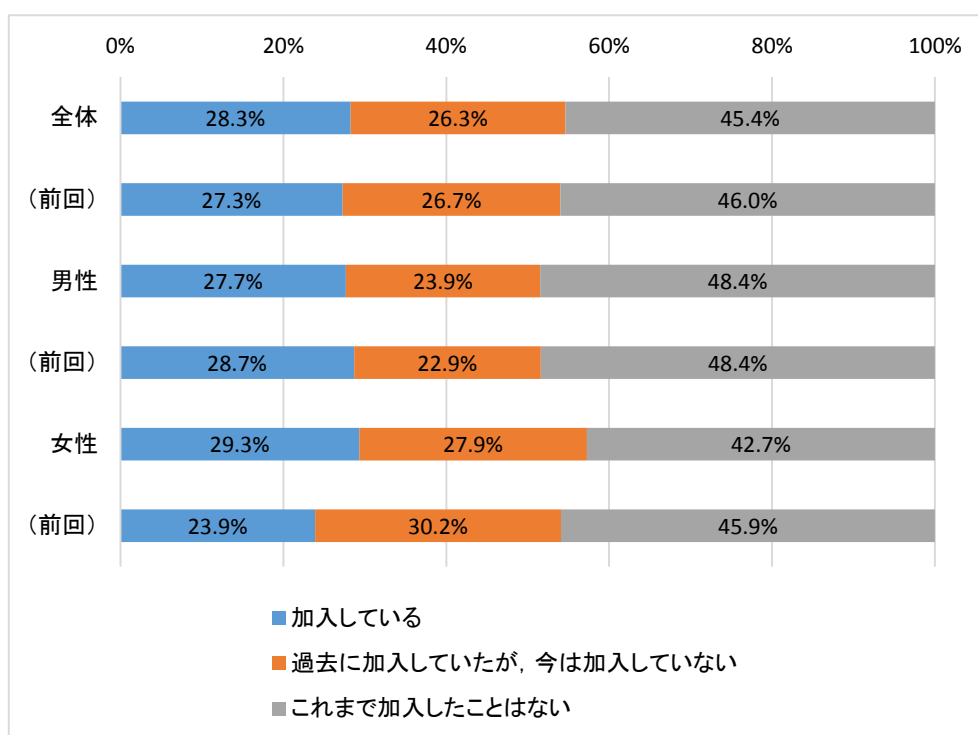


図3-4-1 スポーツクラブや同好会への加入状況

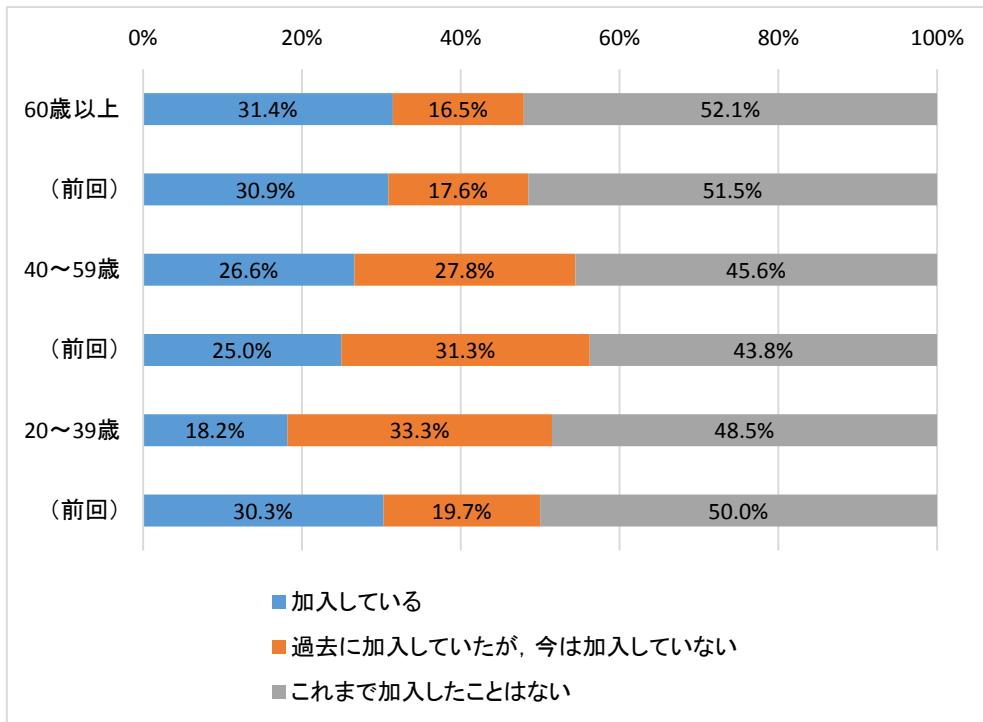


図 3-4-2 スポーツクラブや同好会への加入状況（男性・年齢層別）

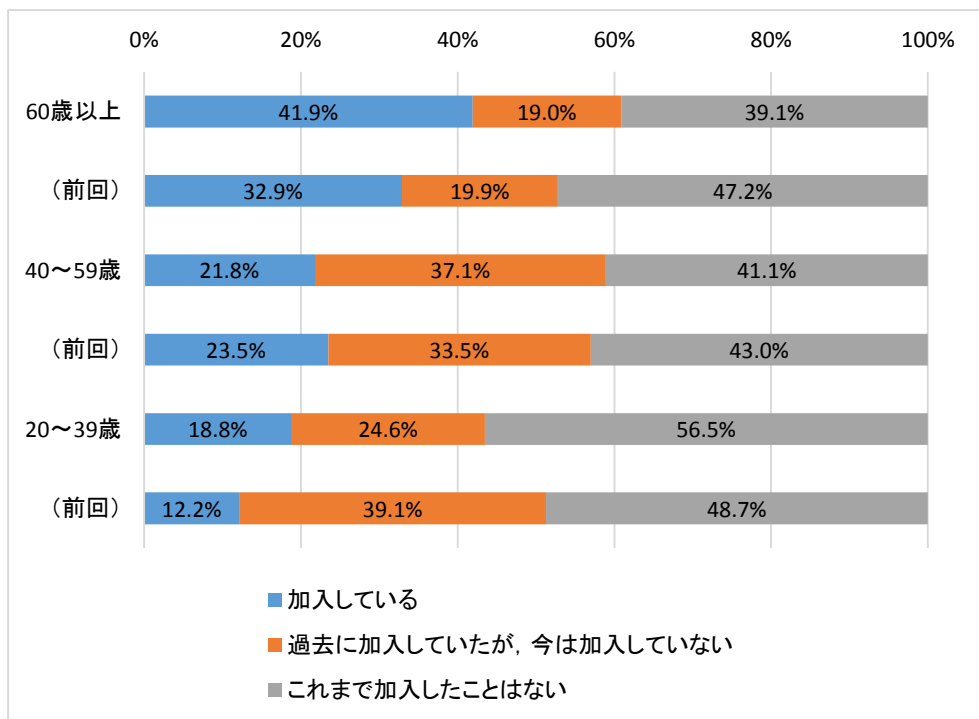


図 3-4-3 スポーツクラブや同好会への加入状況（女性・年齢層別）

3-5 加入しているクラブや同好会の種目

表 3-5-1 は、職場クラブや同好会に加入している人の内訳を表している。表 3-5-2 は学校のクラブや同好会に加入している人、表 3-5-3 はスポーツクラブ 21・コムスクに加入している人、表 3-5-4 は民間スポーツクラブ（フィットネスクラブ）や会員制のクラブに加入している人、表 3-5-5 にはその他のクラブやサークル・同好会に加入している人の内訳を示している。特に民間スポーツクラブ（フィットネスクラブ）や会員制のクラブに加入している人が多くみられ、前回の調査時と同様、水泳、テニス、マシントレーニングの順が多い。

表 3-5-1 加入しているクラブや同好会の種目（職場，n=26）

順位	種目	前回	今回
1	テニス	16.7%	15.6%
1	野球	-	15.6%
1	登山・スポーツライミング	-	15.6%
4	ストレッチング	-	7.6%
4	バスケットボール	-	7.6%
4	ソフトボール	-	7.6%
4	ゴルフ(コース)	10.0%	7.6%
8	サッカー, フットサル	16.7%	3.8%
8	ジョギング, ランニング	16.7%	3.8%
8	ハイキング	10.0%	3.8%
8	ゴルフ(練習場)	3.3%	3.8%
8	ヨガ	-	3.8%
8	サイクリング	-	3.8%

表 3-5-2 加入しているクラブや同好会の種目（学校，n=13）

順位	種目	前回	今回
1	バスケットボール	-	15.4%
1	サッカー, フットサル	10.0%	15.4%
3	ジョギング, ランニング	-	7.7%
3	水泳	-	7.7%
3	サイクリング	-	7.7%
3	テニス	20.0%	7.7%
3	バレーボール	30.0%	7.7%
3	卓球	-	7.7%
3	バドミントン	-	7.7%
3	ラグビー	-	7.7%
3	その他	10.0%	7.7%

表 3-5-3 加入しているクラブや同好会の種目（スポーツクラブ 21・コミスク，n=30）

順位	種目	前回	今回
1	バレーボール	-	16.7%
1	体操(ラジオ体操含む)	20.5%	16.7%
3	テニス	10.3%	13.5%
4	散歩, ウォーキング	2.6%	10.2%
5	水泳	-	3.3%
5	野球	2.6%	3.3%
5	ジョギング, ランニング	-	3.3%
5	エアロビクス	-	3.3%
5	空手	-	3.3%
5	クォーターテニス(スポンジテニス)	2.6%	3.3%
5	サッカー, フットサル	2.6%	3.3%
5	少林寺拳法	-	3.3%
5	スキューバダイビング	-	3.3%
5	ダンス(各種ダンス・バレエ含む)	-	3.3%
5	ハイキング	-	3.3%
5	バスケットボール	-	3.3%
5	ヨガ	2.6%	3.3%

表 3-5-4 加入しているクラブや同好会の種目（民間スポーツクラブ，n=129）

順位	種目	前回	今回
1	水泳	19.4%	14.7%
2	テニス	17.5%	14.0%
3	マシントレーニング	7.8%	12.4%
4	ヨガ	8.7%	10.9%
5	ジョギング	4.9%	7.8%
5	エアロビクス	2.9%	7.8%
7	ストレッチング	5.8%	7.0%
8	体操(ラジオ体操を含む)	4.9%	5.4%
8	ゴルフ(コース)	8.7%	5.4%
10	ダンス(各種ダンス・バレエ含む)	5.8%	3.9%
11	散歩, ウォーキング	1.0%	1.6%
11	乗馬	-	1.6%
13	ゴルフ(練習場)	2.9%	0.8%
13	太極拳	1.9%	0.8%
13	卓球	-	0.8%
13	ハイキング	-	0.8%
13	パラグライダー	-	0.8%
13	その他	2.9%	3.9%

表 3-5-5 加入しているクラブや同好会の種目（その他 n=92）

順位	種目	今回
1	ヨガ	10.9%
2	体操(ラジオ体操含む)	9.8%
3	テニス	8.7%
4	登山・スポーツクライミング	7.6%
5	ダンス(各種ダンス・バレエ含む)	6.5%
6	散歩, ウォーキング	5.4%
6	ハイキング	5.4%
8	野球	4.3%
9	バスケットボール	3.3%
9	サッカー, フットサル	3.3%
9	ストレッチング	3.3%
9	ゴルフ(コース)	3.3%
13	卓球	2.2%
13	ジョギング, ランニング	2.2%
13	空手	2.2%
16	キャンプ	1.1%
16	クォーターテニス(スポンジテニス)	1.1%
16	柔道	1.1%
16	乗馬	1.1%
16	エアロビクス	1.1%
16	カヌー	1.1%
16	バドミントン	1.1%
16	ヨット	1.1%
16	その他	13.0%

3-6 加入したいスポーツクラブ・同好会

表3-6は、加入したいスポーツクラブ・同好会について表している。全体では「民間スポーツクラブや会員制のクラブ」が35.6%と最も多く、次いで「加入したくない」が27.4%、「その他のクラブやサークル・同好会」が23.1%である。性別で見ると、男性では「加入したくない」と「学校のクラブやサークル・同好会」が増加する一方で、女性は減少している。また、「スポーツクラブ21・コミスク」は男女ともに加入したい割合が大きく減少している。

表3-6 加入したいスポーツクラブ・同好会（複数回答）

順位	項目	全体		男性		女性	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	民間スポーツクラブや会員制のクラブ	42.2%	35.6%	39.2%	31.4%	44.9%	40.0%
2	加入したくない	29.3%	27.4%	27.5%	31.4%	30.2%	25.3%
3	その他のクラブやサークル・同好会	-	23.1%	-	22.4%	-	24.8%
4	スポーツクラブ21・コミスク	23.4%	11.6%	24.5%	11.8%	22.8%	12.0%
5	職場のクラブやサークル・同好会	5.5%	6.0%	9.5%	9.0%	3.0%	4.3%
6	学校のクラブやサークル・同好会	3.7%	3.0%	3.6%	4.1%	3.7%	2.5%

3-7 「スポーツクラブ 21」 への入会状況

図3-7-1は、「スポーツクラブ21」への加入状況を全体及び性別で示したものである。「会員になっている」と回答したのは全体1.3%（前回3.7%）、男性1.2%、女性1.5%であり、「全く知らない」と回答したのは全体81.8%（前回73.9%）、男性84.8%、女性79.8%であり、男性の方がやや多い。性別・年齢層別でみると（図3-7-2、図3-7-3）、男女ともに40～59歳が「会員になっている」・「以前、会員であった」の割合が若干高い。

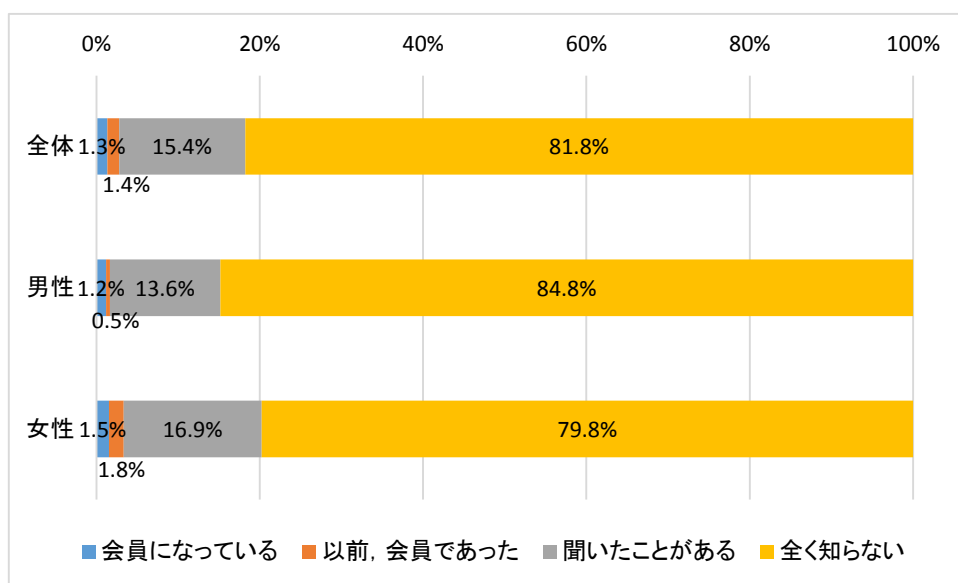


図 3-7-1 「スポーツクラブ 21」 への入会状況

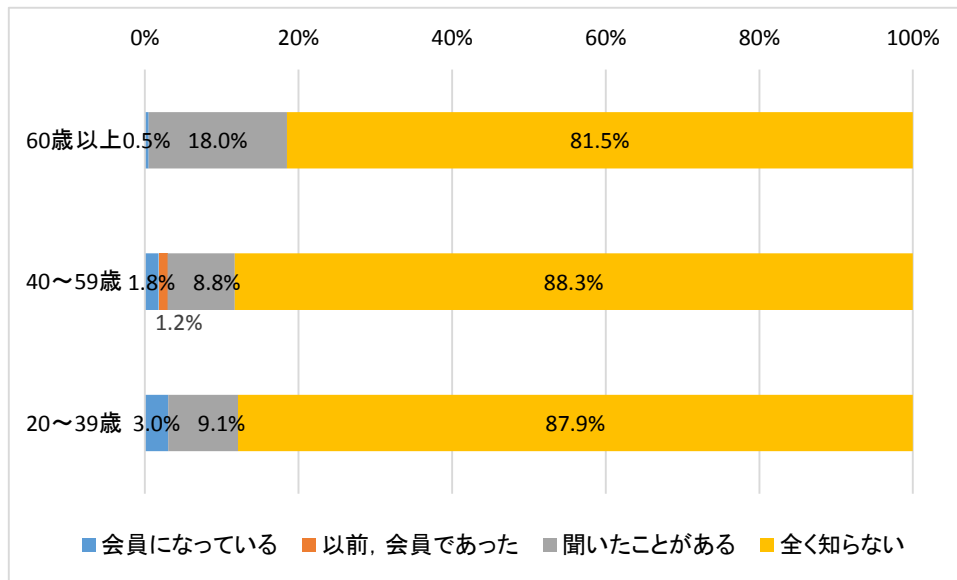


図 3-7-2 「スポーツクラブ 21」 への入会状況（男性・年齢層別）

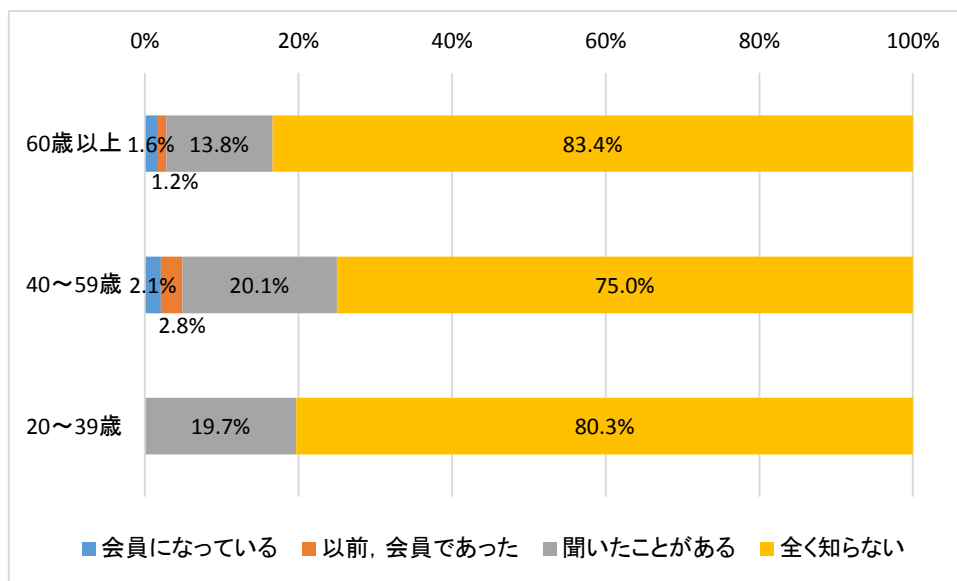


図 3-7-3 「スポーツクラブ 21」 への入会状況（女性・年齢層別）

4. スポーツ施設について

4-1 体育・スポーツ施設の利用状況

表 4-1-1 は、芦屋市民がこの 1 年間に運動・スポーツを行った施設の利用状況を示したものである。1 位「道路」(22.5%)、2 位「公園(河川敷含)」(21.8%)、3 位「自宅(庭・室内等)」(19.7%)、4 位「高原・山」(14.5%)、5 位「屋内プール」(13.3%) の順となっていた。性別で比較すると、男性は「道路」、「公園(河川敷含)」、「高原・山」、「ゴルフ場(コース)」と屋外施設が女性に比べて多く、女性は「自宅(庭・室内等)」、「屋内プール」と屋内施設が男性に比べて多い。

表 4-1-1 この 1 年間で運動・スポーツを行った具体的な施設(複数回答)

順位	具体的施設	全体	男性	女性
1	道路	22.5%	24.6%	21.1%
2	公園(河川敷含)	21.8%	23.0%	21.0%
3	自宅(庭・室内等)	19.7%	16.1%	22.0%
4	高原・山	14.5%	15.4%	14.0%
5	屋内プール	13.3%	13.0%	13.5%
6	ゴルフ場(コース)	13.2%	24.6%	5.7%
7	トレーニングルーム	12.1%	13.4%	11.3%
8	海・海岸	11.2%	14.8%	8.8%
9	体育館	11.0%	11.2%	10.9%
10	ゴルフ場(練習場)	10.3%	17.2%	5.7%
11	テニスコート	8.1%	9.4%	7.2%
12	屋外プール	6.8%	8.7%	5.6%
13	ボウリング場	5.6%	6.3%	5.1%
14	ダンススタジオ	5.1%	1.3%	7.6%
15	スキー場・アイススケート場	4.2%	3.8%	4.4%
16	グラウンド(運動広場)	4.1%	5.8%	2.9%
17	サイクリングコース	3.4%	4.9%	2.3%
18	野球場・ソフトボール	2.1%	4.9%	0.3%
19	陸上競技場	1.3%	1.6%	1.2%
20	武道場	1.3%	2.2%	0.7%
21	ゲートボール場	0.1%	0.0%	0.1%

表4-1-2は、表4-1-1の施設を5つに分類したものである。1位「公共の施設」(61.0%)、2位「民間の施設」(56.3%)の順となっているが、これらに続く施設分類の利用は少なく、3位「小・中・高校の学校施設」(3.5%)、4位「職場の施設」(2.4%)、5位「大学の学校施設」(1.8%)となっている。

表 4-1-2 この1年間で運動・スポーツを行った施設の分類（複数回答）

順位	施設分類	全体	男性	女性
1	公共の施設	61.0%	70.2%	54.9%
2	民間の施設	56.3%	68.5%	48.3%
3	小・中・高校の学校施設	3.5%	4.7%	2.8%
4	職場の施設	2.4%	3.1%	1.9%
5	大学の学校施設	1.8%	2.5%	1.3%

4-2 スポーツ施設整備に関する要望

表4-2は、スポーツ施設整備に関する要望について表している。全体で最も多い項目は「公共スポーツ施設（体育館、プール、テニスコートなど）の整備」が34.5%、次いで2位が「自然を利用した施設の整備」で27.8%、3位が「運動施設を備えた文化施設の整備」で22.6%である。「自然を利用した施設の整備」や「小、中、高、大学などの学校の運動場、体育館、プールなどの体育施設の開放や整備」等に関する要望は減少している。一方で、「民間スポーツ施設」への要望は増加している。男性のほうが、「自然を利用した施設の整備」と「小、中、高、大学などの学校の運動場、体育館、プールなどの体育施設の開放や整備」の割合が比較的大きいといえる。

表 4-2 スポーツ施設整備に関する要望（複数回答）

順位	項目	全体		男性		女性	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	公共スポーツ施設(体育館、プール、テニスコートなど)の整備	38.6%	34.5%	38.2%	35.7%	38.9%	34.9%
2	自然を利用した施設の整備	29.7%	27.8%	38.8%	31.2%	28.9%	26.0%
3	運動施設を備えた文化施設の整備	22.3%	22.6%	17.6%	23.5%	21.2%	22.1%
4	運動広場の充実	19.3%	17.9%	18.7%	22.4%	15.9%	15.8%
5	特になし	18.1%	17.1%	13.2%	15.6%	19.2%	18.9%
6	民間スポーツ施設の整備	13.7%	17.0%	11.0%	19.7%	14.1%	16.0%
7	小、中、高、大学などの学校の運動場、体育館、プールなどの体育施設の開放や整備	18.1%	16.0%	24.9%	20.1%	17.1%	14.3%
8	スポーツクラブ21ひょうごの充実	3.5%	7.5%	0.0%	7.2%	2.6%	7.7%
8	企業運動施設の開放	6.9%	7.5%	7.7%	8.4%	7.3%	7.0%
10	わからない	7.2%	5.1%	3.7%	3.6%	7.5%	6.2%
11	その他	4.2%	3.1%	6.2%	1.6%	6.0%	2.4%

4-3 本市にほしい種目の施設

表 4-3 は、芦屋市民が今後どのような施設を作ってほしいのかを種目名で示したものである。1 位「散歩，ウォーキング」（16.0%），2 位「ヨガ」（12.2%），3 位「水泳」（11.8%），4 位「ゴルフ（練習場）」（10.5%），5 位「ストレッチング」（9.8%）の順である。性別で見ると，男性においては主に「散歩，ウォーキング」，「ゴルフ（練習場）」，「サイクリング」，「ジョギング，ランニング」を行える施設を作ってほしいと回答した人が女性よりも多く，女性においては主に「ヨガ」，「水泳」，「ストレッチング」，「体操（ラジオ体操含む）」を行える施設を作ってほしいと回答した人が男性よりも多い。男性は「アウトドアスポーツ」を行える自然，道路の整備を求めている，女性は身近に行える屋内施設を求めていることが示唆される。

表 4-3 本市にほしい施設（複数回答）

順位	項目	全体	男性	女性
1	散歩, ウォーキング	16.0%	19.7%	13.7%
2	ヨガ	12.2%	4.7%	17.2%
3	水泳	11.8%	8.3%	14.1%
4	ゴルフ(練習場)	10.5%	16.1%	6.8%
5	ストレッチ	9.8%	6.3%	12.0%
6	サイクリング	8.7%	11.4%	6.9%
7	ジョギング, ランニング	7.9%	11.6%	5.4%
8	体操(ラジオ体操含む)	7.2%	4.9%	8.7%
9	テニス	6.5%	5.8%	6.9%
10	卓球	6.2%	6.5%	6.0%
11	乗馬	5.1%	4.7%	5.4%
12	キャンプ	5.1%	6.9%	3.8%
13	マシントレーニング	5.1%	5.8%	4.6%
14	ハイキング	4.9%	6.3%	4.0%
15	ボウリング	4.9%	4.9%	4.8%
16	登山・スポーツクライミング	4.3%	5.6%	3.4%
17	ダンス(各種ダンス・バレエ含む)	3.8%	1.1%	5.6%
18	スケート	3.4%	2.7%	3.8%
19	釣り	3.2%	5.1%	1.9%
20	太極拳	3.1%	1.6%	4.1%
21	ゴルフ(コース)	2.5%	4.0%	1.5%
22	野球	2.4%	4.0%	1.3%
23	エアロビクス	2.2%	0.7%	3.2%
24	バドミントン	2.2%	1.8%	2.5%
25	サッカー, フットサル	2.1%	2.7%	1.8%
26	アーチェリー	1.9%	2.5%	1.5%
27	弓道	1.9%	2.2%	1.6%
28	グラウンド・ゴルフ	1.8%	2.2%	1.5%
29	スポーツ吹矢	1.7%	2.2%	1.3%
30	ソフトテニス	1.3%	0.4%	1.9%
31	スキー	1.2%	1.3%	1.0%
32	ヨット	1.2%	1.3%	1.0%
33	障がい者スポーツ	1.1%	1.3%	0.9%
34	スキューバダイビング	1.1%	0.4%	1.5%
35	バスケットボール	1.1%	1.8%	0.6%
36	サーフィン	1.0%	1.3%	0.7%
37	クォーターテニス(スポンジテニス)	0.9%	0.4%	1.2%
38	陸上競技	0.9%	0.7%	1.0%
39	ソフトボール	0.8%	1.8%	0.1%
40	バレーボール	0.8%	0.9%	0.7%
41	カヌー	0.8%	1.1%	0.6%
42	空手	0.7%	0.7%	0.7%
43	ボクシング	0.7%	1.1%	0.4%
44	剣道	0.6%	1.1%	0.3%
45	パラグライダー	0.6%	0.9%	0.4%
46	モータースポーツ	0.6%	1.1%	0.3%
47	ゲートボール	0.5%	0.9%	0.3%
48	ラグビー	0.5%	0.4%	0.6%
49	アイスホッケー	0.4%	1.1%	0.0%
50	民謡	0.4%	0.2%	0.6%
51	ボードセーリング	0.4%	0.7%	0.3%
52	スノーボード	0.4%	0.4%	0.3%
53	ベタンク	0.4%	0.2%	0.4%
54	トライアスロン	0.3%	0.4%	0.1%
55	柔道	0.2%	0.4%	0.0%
56	少林寺拳法	0.2%	0.2%	0.1%
57	アメリカンフットボール	0.2%	0.0%	0.3%
58	なわとび	0.2%	0.2%	0.1%
59	ハングライダー	0.2%	0.4%	0.0%
60	ボート(ドラゴンボート)	0.2%	0.0%	0.3%

4-4 公共スポーツ施設への要望

表4-4は、公共施設への要望について表している。全体で最も多い項目が「予約なしで参加できるプログラムがほしい」で48.9%、次いで「利用料金を安くしてほしい」が42.5%、「中・高齢者用のプログラムがほしい」が29.6%である。「中・高齢者のプログラムがほしい」が増加し、前回3番目に多かった「施設の利用手続きを簡単にしてほしい」と順位が入れ替わっている。性別で見ると、上位2つは男女とも同様の結果であるが、男性は3番目に多い項目として「利用者の駐車料金を優遇してほしい」、女性は「施設の利用手続きを簡単にしてほしい」となり男女で違いが表れている。前回と比較すると「施設の利用手続きを簡単にしてほしい」と「クラブハウスやくつろぐ場がほしい」が減少している。

表4-4 公共スポーツ施設への要望（複数回答）

順位	項目	全体		男性		女性	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	予約なしで参加できるプログラムがほしい	47.4%	48.9%	41.1%	43.9%	51.6%	53.6%
2	利用料金を安くしてほしい	40.7%	42.5%	33.8%	39.4%	45.3%	45.8%
3	中・高齢者用のプログラムがほしい	26.3%	29.6%	25.7%	30.8%	26.7%	29.1%
4	施設の利用手続きを簡単にしてほしい	34.6%	28.8%	32.4%	26.7%	36.1%	31.4%
5	利用者の駐車料金を優遇してほしい	30.4%	28.6%	29.7%	31.9%	30.8%	27.5%
6	健康・体力相談のプログラムがほしい	24.6%	22.3%	21.6%	22.9%	26.7%	22.8%
7	夜間などの利用時間を延長してほしい	19.1%	20.8%	22.4%	26.9%	16.9%	18.0%
8	温水シャワーがほしい	18.1%	16.5%	21.3%	17.0%	15.9%	16.6%
9	クラブハウスやくつろぐ場がほしい	15.7%	14.0%	17.5%	15.4%	14.5%	13.1%
10	専任指導者を配置してほしい	13.0%	12.1%	11.1%	11.3%	14.3%	12.9%
11	託児施設がほしい	7.2%	5.7%	3.5%	4.3%	9.6%	6.8%
12	青少年用のプログラムがほしい	3.3%	3.7%	1.7%	4.3%	4.3%	3.4%
13	障がい者用のプログラムがほしい	2.7%	2.8%	1.7%	3.4%	3.3%	2.1%
14	その他	5.3%	4.7%	5.2%	4.1%	5.3%	3.4%

5. スポーツ情報について

5-1 運動・スポーツ情報のニーズ

表5-1は、運動・スポーツ情報のニーズを表している。全体で最も多い項目は「各種スポーツ教室の案内」が37.6%で、次いで「スポーツ施設の案内」が35.5%、「健康・体力づくり情報」が31.9%である。男性は、「スポーツ施設の案内」が最も多くなっている。女性は、「クラブやサークル・同好会などの活動案内」が前回より増加している。前回と比べて男女ともに上位3項目であてはまると回答した人は減少しており、男性はすべての項目であてはまると回答した人が減少している。

表5-1 運動・スポーツ情報のニーズ（複数回答）

順位	項目	全体		男性		女性	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	各種スポーツ教室の案内	41.4%	37.6%	35.7%	32.1%	48.1%	44.4%
2	スポーツ施設の案内	44.7%	35.5%	45.8%	38.2%	44.4%	36.8%
3	健康・体力づくり情報	36.8%	31.9%	34.7%	32.6%	38.2%	34.2%
4	新しいスポーツ、気軽にできる運動・スポーツなどの情報	34.3%	27.0%	27.9%	26.2%	37.6%	29.9%
5	スポーツ行事やスポーツイベントの情報	28.1%	25.5%	33.4%	32.4%	23.9%	23.4%
6	スポーツに関する医科学的情報	18.5%	13.9%	18.5%	14.7%	18.8%	14.6%
7	自分が参加できるスポーツ競技会の情報	16.9%	14.4%	23.4%	22.2%	12.6%	10.5%
8	クラブやサークル・同好会などの活動案内	16.7%	15.8%	17.5%	15.2%	15.4%	17.7%
9	各種スポーツ指導者の紹介	8.4%	5.6%	8.1%	4.1%	8.1%	7.1%
10	その他	3.2%	1.4%	4.2%	1.4%	2.6%	1.5%

5-2 運動・スポーツの情報源

表5-2は、運動・スポーツの情報源を表している。最も多い項目が「広報あしや」で36.7%、次いで「新聞・雑誌」が25.8%、「知人や近所の友人」が24.7%である。「広報あしや」や、「スポーツクラブ21・コミスク・自治会などの回覧」等は減少している。一方で、「テレビ・ラジオ」、「ポスター等」、「市体育協会ホームページ・チラシ等」が増加している。性別で見ると、女性は「知人や近所の友人」が2番目に多い項目となっている。また、男女ともに「テレビ・ラジオ」が増加している。

表5-2 運動・スポーツの情報源（複数回答）

順位	項目	全体		男性		女性	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	広報あしや	43.2%	36.7%	33.5%	31.9%	49.3%	40.4%
2	新聞・雑誌	33.8%	25.8%	32.9%	27.1%	34.3%	26.0%
3	知人や近所の友人	27.7%	24.7%	26.5%	21.5%	28.7%	27.9%
4	テレビ・ラジオ	12.9%	15.3%	12.3%	15.8%	12.7%	15.8%
6	市ホームページ・チラシ等	9.2%	8.9%	11.4%	12.2%	8.2%	5.6%
5	スポーツクラブ21・コミスク・自治会などの回覧	11.2%	8.7%	8.0%	7.9%	12.9%	9.1%
7	ポスター等	7.8%	8.3%	6.8%	7.5%	8.0%	8.9%
8	クラブやサークル、同好会	7.2%	7.0%	9.5%	8.8%	4.9%	6.4%
9	職場や施設の仲間	6.3%	4.8%	9.8%	5.9%	4.5%	4.3%
10	専門誌	6.4%	4.3%	10.2%	7.5%	4.1%	2.5%
11	市体育協会ホームページ・チラシ等	2.1%	3.3%	2.5%	2.9%	2.3%	3.7%
12	その他	8.1%	7.7%	10.5%	8.6%	7.4%	7.6%

6. スポーツ観戦

6-1 観戦経験

図 6-1 は、過去 1 年間にテレビの視聴等を除き、直接スポーツの試合を観戦したことがある人の割合を示している。全体では「ある」と回答した人が 42.8%、「ない」と回答した人が 57.2%となっている。性別で見ると、男性においては「ある」と回答した人が 50.6%、「ない」と回答した人が 49.4%、女性においては「ある」と回答した人が 38.3%、「ない」と回答した人が 61.7%となっており、男性の方が直接スポーツ観戦をしたことのある人が多い。

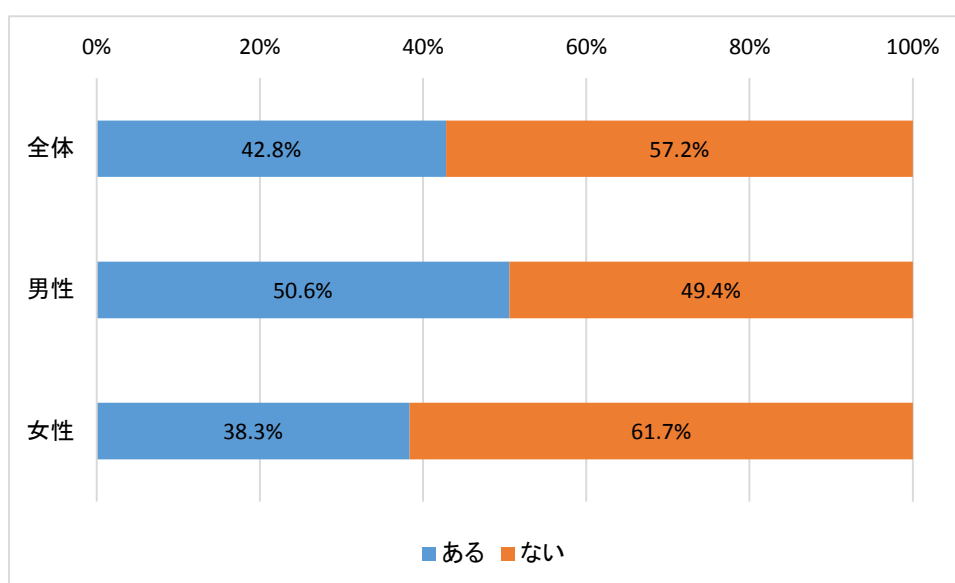


図 6-1 過去 1 年間のスポーツの直接観戦経験

また表 6-1 は、図 6-1 で「ある」と回答した人に観戦種目をたずねたものである。1 位「プロ野球」(27.7%)、2 位「サッカー」(9.4%)、3 位「ゴルフ」(2.8%)、4 位「ラグビー」(2.8%)、5 位に「テニス」(2.7%) の順となっている。

表 6-1 過去 1 年間のスポーツ観戦種目

順位	種目	全体	男性	女性
1	プロ野球	27.7%	36.0%	22.3%
2	サッカー	9.4%	11.2%	8.2%
3	ゴルフ	2.8%	4.9%	1.5%
4	ラグビー	2.8%	3.8%	2.2%
5	テニス	2.7%	2.2%	3.1%
6	バスケットボール	2.1%	2.5%	1.9%
7	アメリカンフットボール	1.9%	1.6%	2.1%
8	バレーボール	1.6%	0.2%	2.5%
9	フィギュアスケート	1.0%	0.2%	1.5%
10	陸上競技	0.9%	0.9%	0.9%
11	高校野球	0.8%	1.1%	0.6%
12	大相撲	0.8%	0.4%	1.0%
13	マラソン	0.6%	1.1%	0.3%
14	水泳	0.6%	0.2%	0.9%
15	フットサル	0.4%	0.4%	0.4%
16	器械体操	0.4%	0.2%	0.6%
17	ソフトボール	0.4%	0.4%	0.3%
18	ボクシング	0.4%	0.4%	0.3%
19	空手	0.4%	0.4%	0.3%
20	剣道	0.4%	0.4%	0.3%
21	アイススケート	0.3%	0.0%	0.4%
22	ダンス	0.3%	0.2%	0.3%
23	プロレス	0.3%	0.7%	0.0%
24	ヨット	0.3%	0.2%	0.3%
25	ラクロス	0.3%	0.4%	0.1%
26	乗馬	0.3%	0.0%	0.4%
27	馬術	0.2%	0.0%	0.3%
28	スキー	0.2%	0.2%	0.1%
29	スケート	0.2%	0.2%	0.1%
30	カヤック	0.1%	0.2%	0.0%
31	ソフトテニス	0.1%	0.0%	0.1%
32	ドッジボール	0.1%	0.0%	0.1%
33	ボルダリング	0.1%	0.2%	0.0%
34	モータースポーツ	0.1%	0.2%	0.0%
35	ライフル射撃	0.1%	0.0%	0.1%
36	柔道	0.1%	0.2%	0.0%
37	卓球	0.1%	0.0%	0.1%
38	少林寺拳法	0.1%	0.0%	0.1%
39	駅伝	0.1%	0.0%	0.1%
40	競馬	0.1%	0.2%	0.0%
41	弓道	0.1%	0.0%	0.1%
42	アーチェリー	0.1%	0.0%	0.1%
43	オープンウォータースイミング	0.1%	0.2%	0.0%
44	バトントワリング	0.1%	0.0%	0.1%
45	ビーチバレー	0.1%	0.0%	0.1%
46	ボウリング	0.1%	0.2%	0.0%
47	剣道	0.1%	0.0%	0.1%
48	高校ラグビー	0.1%	0.2%	0.0%
49	車いす競技	0.1%	0.0%	0.1%
50	少年野球	0.1%	0.0%	0.1%
51	大リーグ	0.1%	0.2%	0.0%

7. スポーツ・ボランティアについて

7-1 スポーツ・ボランティア経験

図7-1は、過去1年間に何らかのスポーツに関わるボランティア活動を行なったことがあるかどうかをたずねたものである。「ある」と回答した人は全体で6.2%、男性8.8%、女性4.8%となっており、9割強の人は、スポーツ・ボランティア経験がない。

表7-1は、過去1年間に何らかのスポーツに関わるボランティア活動を行なったことが「ある」と回答した人の、具体的なスポーツ・ボランティア活動の内容をたずねたものである。最も多かった項目が「【全国・国際イベント】スポーツの審判」(15.5%)、次いで「【日常的な活動】スポーツ施設の管理の手伝い」(15.0%)、「【全国・国際的イベント】大会・イベントの運営や世話」(14.1%)の順となっている。性別で比較してみると、男性においては「【日常的な活動】スポーツ施設の管理の手伝い」、「【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話」が女性と比べて多い。女性においては「【全国・国際的イベント】大会・イベントの運営や世話」、「【日常的な活動】スポーツの審判」、「【日常的な活動】スポーツの指導」等が男性より多くなっている。

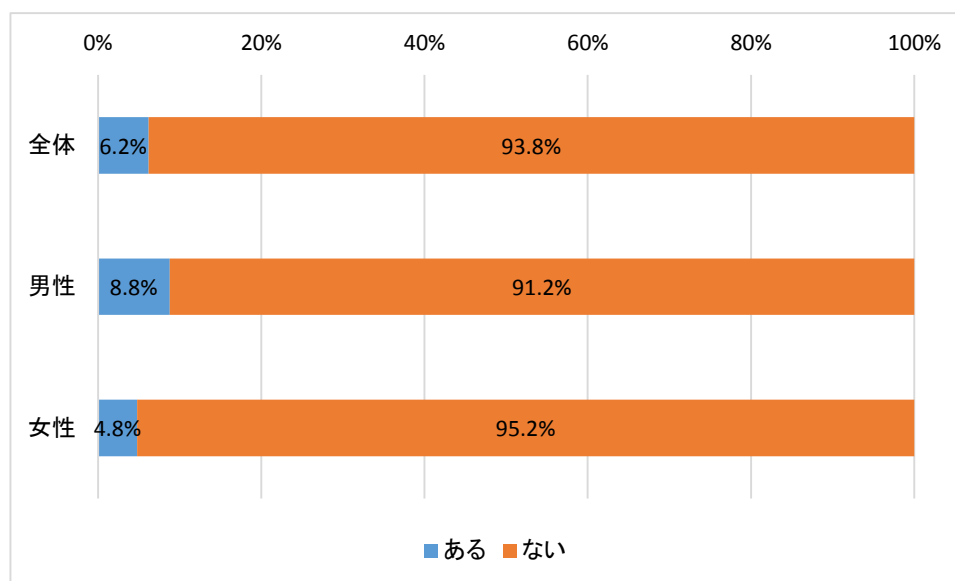


図 7-1 過去 1 年間のスポーツ・ボランティア経験の有無

表 7-1 過去 1 年間に行ったことのあるスポーツ・ボランティア活動（複数回答）

順位	ボランティア活動	全体	男性	女性
1	【全国・国際的イベント】スポーツの審判	15.5%	15.5%	15.4%
2	【日常的な活動】スポーツ施設の管理の手伝い	15.0%	15.5%	14.4%
3	【全国・国際的イベント】大会・イベントの運営や世話	14.1%	13.8%	14.4%
4	【地域のスポーツイベント】スポーツの審判	13.4%	13.4%	13.5%
5	【日常的な活動】スポーツの審判	13.0%	12.1%	13.9%
6	【日常的な活動】スポーツの指導	11.8%	10.8%	13.0%
7	【日常的な活動】団体・クラブの運営や世話	10.0%	11.2%	8.7%
8	【地域のスポーツイベント】大会・イベントの運営や世話	6.6%	6.5%	6.7%
9	その他	0.7%	1.3%	0.0%

7-2 スポーツ・ボランティア希望

図7-2は、今後、スポーツに関わるボランティア活動を行いたいかどうかをたずねたものである。「ぜひ行いたい」、「できれば行いたい」と積極的な姿勢を示した意見を合わせても、全体で14.1%、男性17.6%、女性12.2%となっている。「あまり行いたくない」、「まったく行いたくない」、「わからない」といった消極的な姿勢の意見が大半を占めている。

表7-2は、「ぜひ行いたい」、「できれば行いたい」と回答した人に今後行いたいスポーツ・ボランティア活動の内容をたずねたものである。最も多かった項目が「全国・国際的なスポーツイベントでの審判」(13.4%)、次いで「日常的なスポーツの審判」(13.1%)、「スポーツ情報誌やホームページ作成の手伝い」(12.7%)の順となっている。性別で比較してみると、男性においては「日常的なスポーツ施設の管理の手伝い」、「全国・国際的なスポーツイベントの運営や世話」が女性と比べて多く、女性においては「日常的なスポーツの審判」、「日常的なスポーツの指導」が男性より多くなっている。

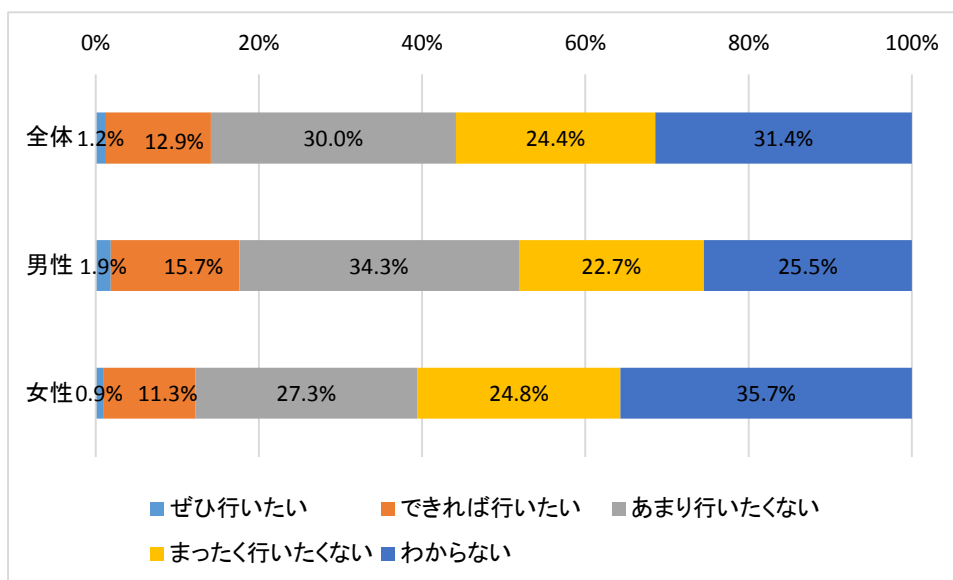


図 7-2 今後のスポーツ・ボランティア活動の希望

表 7-2 今後、行いたいスポーツ・ボランティア活動の内容

順位	ボランティア活動	全体	男性	女性
1	全国・国際的なスポーツイベントでの審判	13.4%	13.4%	13.4%
2	日常的なスポーツの審判	13.1%	12.9%	13.4%
3	スポーツ情報誌やホームページ作成の手伝い	12.7%	12.9%	12.5%
4	地域のスポーツイベントでの審判	12.6%	12.5%	12.7%
5	日常的なスポーツの指導	11.9%	10.8%	12.9%
6	日常的な団体・クラブの運営や世話	10.2%	9.7%	10.6%
7	日常的なスポーツ施設の管理の手伝い	9.7%	10.5%	8.9%
8	全国・国際的なスポーツイベントの運営や世話	9.2%	10.1%	8.2%
9	地域のスポーツイベントの運営や世話	7.1%	7.2%	7.0%
10	その他	0.2%	0.0%	0.4%

8. スポーツの国際大会について

8-1 スポーツの国際大会への関心

図 8-1 は、スポーツの国際大会への関心を示している。ラグビーワールドカップ 2019、東京オリンピック・パラリンピック競技大会 2020、ワールドマスターズゲームズ関西 2021 などのスポーツの国際大会における日本選手の活躍に対し、「非常に関心がある」人は全体で 27.5%、男性 31.5%、女性 25.2%である。「非常に関心がある」と「やや関心がある」を合わせると全体で 73.2%、男性 74.1%、女性 72.8%となっており、7 割を超える人がスポーツの国際大会における日本選手の活躍に関心を示していることが明らかとなっている。

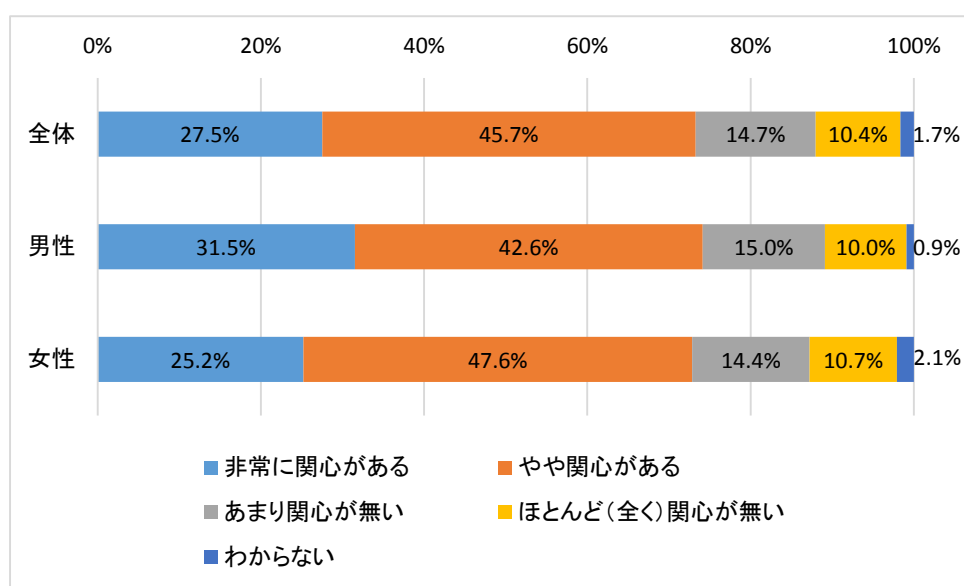


図 8-1 スポーツの国際大会への関心

8-2 スポーツの国際大会開催に対する態度

図8-2は、スポーツの国際大会開催に対する態度を示している。ラグビーワールドカップ2019、東京オリンピック・パラリンピック競技大会2020、ワールドマスターズゲームズ関西2021などのスポーツの国際大会を我が国で開催することに対して「好ましい」が全体の45.1%、男性48.5%、女性43.6%である。「どちらかといえば好ましい」、「好ましい」を合わせると全体で80.5%、男性81.6%、女性80.1%となっており、8割を超える人がどちらかといえば好ましいと感じていることが明らかとなっている。

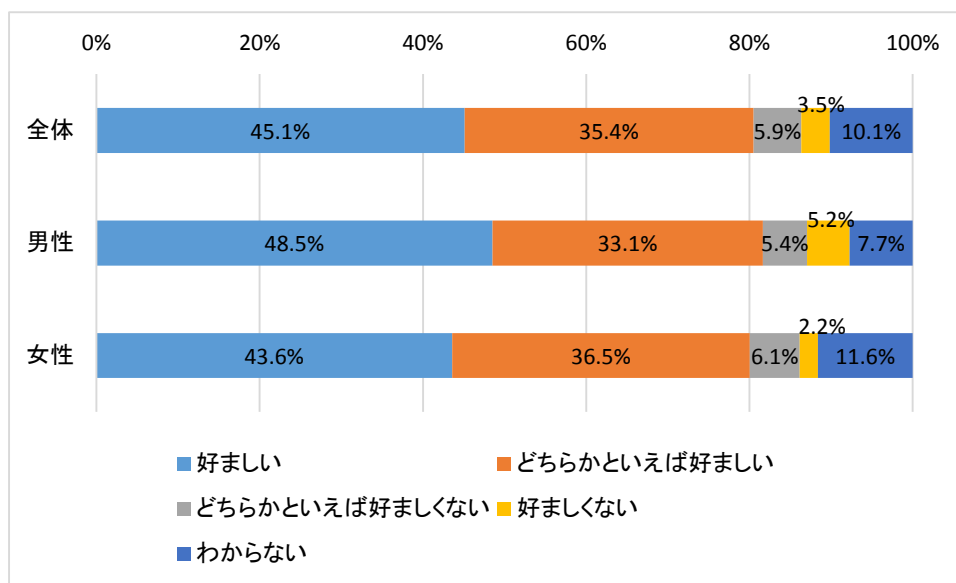


図 8-2 スポーツの国際大会開催に対する態度

9. 障がい者スポーツについて

9-1 障がい者スポーツへの関与

表 9-1 は、障がい者スポーツへの関与を表にしたものである。「テレビやラジオ、新聞などで、間接的に見たり、聞いたりしたことがある」が 83.3%と最も多く、次いで「全く知らない」(12.0%)、「直接観戦したり、または参加したことがある」(3.2%)、「指導や介助、スポーツ大会スタッフなどに関わっている、または関わったことがある」(1.6%)となっている。約 9 割の人が何らかの形で障がい者スポーツに関与しているが、8 割強の人が間接的な関与であることがわかる。

表 9-1 障がい者スポーツへの関与（複数回答）

順位	項目	全体		男性		女性	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	テレビやラジオ、新聞などで、間接的に見たり、聞いたりしたことがある	84.1%	83.3%	84.0%	81.9%	84.2%	83.8%
2	全く知らない	10.2%	12.0%	10.2%	13.0%	10.2%	11.5%
3	直接観戦したり、または参加したことがある	4.7%	3.2%	3.5%	3.1%	5.5%	3.2%
4	指導や介助、スポーツ大会スタッフなどに関わっている、または関わったことがある	3.4%	1.6%	2.6%	2.0%	3.9%	1.5%

9-2 障がい者スポーツのボランティア

図 9-2 は、今後、障がい者スポーツを支援するボランティア活動を行いたいかどうかをたずねたものである。「ぜひ行いたい」、「できれば行いたい」を合わせると、全体 11.2%、男性 12.2%、女性 10.9%となっている。「わからない」と回答した人の割合が全体 39.8%、男性 31.2%、女性 45.9%となっており、最も多く確認できる。

表 9-2 は、「ぜひ行いたい」、「できれば行いたい」と回答した人に今後、行いたい障がい者スポーツに関するボランティア活動の内容をたずねたものである。「スポーツ大会・イベントの運営や手伝い」が 86.3%と最も多く、「スポーツ団体・クラブの運営や手伝い」32.8%、「スポーツの指導や助言」6.1%、「スポーツ大会における審判」2.3%と続く。前回の結果同様に男女ともに「スポーツ大会・イベントの運営や手伝い」が最も多いが、男性は女性に比べて「スポーツ団体・クラブの運営や手伝い」の割合が高く、女性は男性に比べて「スポーツ大会・イベントの運営や手伝い」の割合が高い。

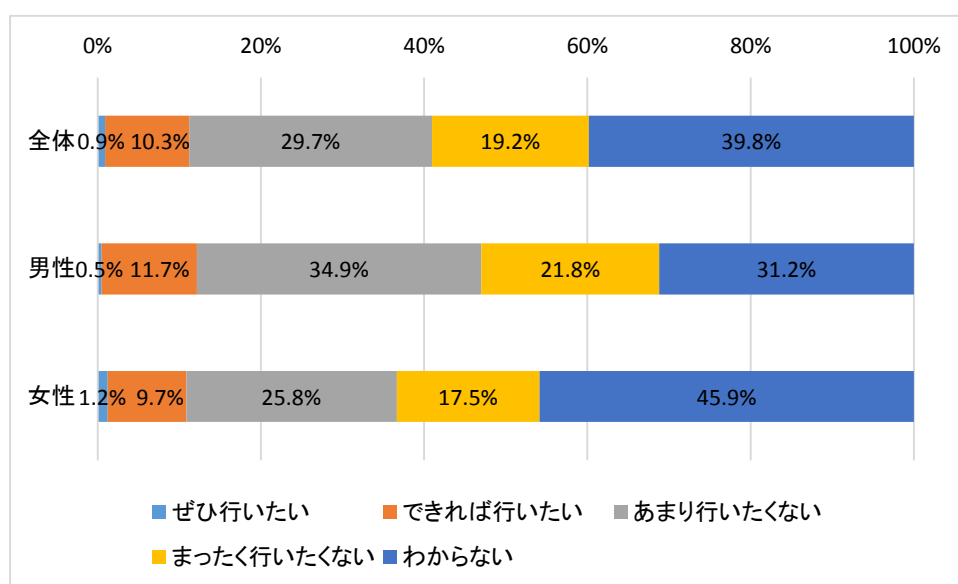


図 9-2 障がい者スポーツのボランティア参加意志

表 9-2 今後、行いたい障がい者スポーツに関するボランティア活動内容
(n=126, 複数回答)

順位	項目	全体		男性		女性	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	スポーツ大会・イベントの運営や手伝い	82.9%	86.3%	76.5%	75.5%	87.5%	94.7%
2	スポーツ団体・クラブの運営や手伝い	37.4%	32.8%	54.1%	37.7%	31.9%	28.9%
3	スポーツの指導や助言	9.8%	6.1%	9.8%	9.4%	9.7%	3.9%
4	スポーツ大会における審判	1.6%	2.3%	2.0%	3.8%	1.4%	1.3%
5	その他	3.3%	0.8%	2.0%	0.0%	4.2%	1.3%

9-3 障がい者スポーツの普及・推進

表9-3は、芦屋市民が今後、障がい者スポーツの普及・推進のために必要だと思う項目について示している。最も多いのは「身近なスポーツ施設のバリアフリー化を進め、利用しやすくする」の60.7%であり、「学校教育の中で、障がい者スポーツを学ぶ機会を作る」が6.9%、「新聞やテレビで、障がい者スポーツについて取り上げる機会を増やす」が5.9%と続いている。

表9-3 今後、障がい者スポーツの普及・推進のために必要だと思うこと

順位	項目	全体		男性		女性	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	身近なスポーツ施設のバリアフリー化を進め、利用しやすくする	54.3%	60.7%	50.9%	58.1%	56.5%	62.4%
2	学校教育の中で、障がい者スポーツを学ぶ機会を作る	0.9%	6.9%	0.9%	8.3%	0.8%	6.1%
3	新聞やテレビで、障がい者スポーツについて取り上げる機会を増やす	2.1%	5.9%	2.2%	5.8%	2.0%	6.1%
4	指導者を増やす	5.2%	5.6%	5.9%	4.3%	4.7%	6.5%
5	障がい者の優先スポーツ施設の整備と一般公共スポーツ施設に障がい者スポーツ用具を整備する	10.1%	5.2%	11.6%	7.1%	9.1%	4.0%
6	障がい者の健康づくりに役立つ「運動」を普及する	2.3%	2.7%	2.5%	3.8%	2.2%	1.9%
7	身近な地域で障がい者スポーツのサークルを育成する	6.9%	2.5%	5.9%	2.0%	7.5%	2.9%
8	重度障がい者や高齢障がい者が気軽にできるスポーツを研究・開発する	1.2%	2.3%	1.3%	0.7%	1.2%	3.3%
9	障がい者スポーツ教室・大会を開催する	8.3%	2.1%	7.8%	2.5%	8.5%	1.8%
10	障がい者スポーツ情報の提供を充実する	2.3%	2.0%	2.8%	2.8%	2.0%	1.4%
11	障がい者スポーツを応援するボランティアを増やす	2.2%	1.7%	3.4%	2.0%	1.4%	1.4%
12	パラリンピック選手や障がい者スポーツ団体に対し資金的な援助をする	3.2%	1.0%	3.4%	0.8%	3.0%	1.1%
13	その他	1.0%	1.4%	1.3%	1.8%	0.8%	1.1%

10. スポーツ振興について

10-1 スポーツ行政への要望

表 10-1 は、スポーツ行政への要望を表している。最も多い項目は「地域で、身近に利用できるスポーツ施設を整備する」で 59.5%，次いで、「各種のスポーツ教室やイベントを開催する」が 29.4%，「スポーツの情報サービスを充実する」が 28.0%，「野外のスポーツ・レクリエーション施設を整備する」が 23.3%，「学校の施設開放を進める」が 17.3%である。前回の調査から「各種のスポーツ教室やイベントを開催する」が「スポーツの情報サービスを充実する」と入れ替わり、2 番目に多くなっている。性別で見ると、男性は「野外のスポーツ・レクリエーション施設を整備する」が 3 番目となっている。また、「野外のスポーツ・レクリエーション施設を整備する」、「学校の施設開放を進める」、「生涯スポーツのリーダーや指導者を養成する」の項目で割合が増えている。一方で、女性はすべての項目で割合が減少している。

表 10-1 スポーツ行政への要望（複数回答）

順位	項目	全体		男性		女性	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	地域で、身近に利用できるスポーツ施設を整備する	60.6%	59.5%	57.3%	63.8%	65.1%	59.3%
2	各種のスポーツ教室やイベントを開催する	30.6%	29.4%	29.7%	28.7%	32.9%	31.4%
3	スポーツの情報サービスを充実する	31.0%	28.0%	32.6%	30.3%	30.3%	28.2%
4	野外のスポーツ・レクリエーション施設を整備する	23.6%	22.3%	29.7%	31.0%	20.6%	16.9%
5	学校の施設開放を進める	19.6%	17.3%	21.2%	22.2%	19.6%	14.7%
6	生涯スポーツのリーダーや指導者を養成する	14.4%	14.2%	10.5%	14.7%	16.7%	14.3%
7	スポーツ医科学研究を促進する	13.0%	11.2%	14.0%	11.3%	13.1%	11.1%
8	競技力向上のため、優れた指導者の養成や選手の育成、強化を図る	7.5%	6.3%	7.6%	6.3%	7.8%	6.7%
9	全国的なスポーツイベントを誘致する	8.7%	5.9%	9.9%	7.5%	8.2%	5.1%
10	スポーツに関する国際交流を進める	5.5%	5.4%	5.8%	5.4%	5.5%	5.2%
11	広域の大会が開催できる競技施設を整備・充実させる	5.8%	4.3%	7.8%	5.0%	5.3%	3.9%
12	その他	5.9%	3.5%	6.1%	2.7%	5.3%	2.2%